

Pioneer

DJシステム

XDJ-R1

製品の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
rekordbox™の操作説明書は、rekordboxをインストール後にrekordboxの[ヘルプ]メニューからご覧いただけます。
これらの説明書は、「保証書」と一緒に保管してください。

<http://pioneerdj.com/support/>

上記のPioneerDJサポートサイトでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

<http://rekordbox.com/>

rekordboxの各種情報やサービスについては、上記の弊社ホームページをご覧ください。

取扱説明書



もくじ

本書の見かた

本書では、製品本体に表示されているチャンネル名、ボタン名、およびソフトウェア上のメニュー名などを、[] で囲んで記載しています。(例: [CH 1]、[CUE] ボタン、[スタート] メニュー)

01 はじめに

本機の特長	3
-------------	---

02 準備する

スマートフォンスタンドを取り付ける	4
対応ソースについて	4
使用できるメディア	4
再生できる音楽ファイルフォーマット	5
コンピュータと組み合わせて使える機能	6

03 接続する

入力 / 出力端子に接続する	9
無線 LAN で接続する	10

04 各部の名前とはたらき

パワー & ワイヤレスセクション	13
USB デバイスセクション	13
プレーヤーセクション	13
ブラウズセクション	16
ミキサーセクション	17
エフェクトセクション	18

05 操作する

電源の入れかた	20
スタンバイ状態にするとき	20
ディスクの入れかたと出しかた	20
USB デバイスの接続のしかたと外しかた	21
再生する	21
remotebox を使う	21
音声を出力する	21
フェーダーを使ってミックスする	22
QUANTIZE 機能を使う	22
SYNC 機能を使う	22

06 設定を変更する

オートスタンバイ機能について	23
設定項目一覧	23
WLAN INFORMATION の項目一覧	23
WLAN SETTING の項目一覧	24

07 DJ ソフトウェアを使う

ドライバソフトウェアについて (Windows)	25
DJ ソフトウェアを使う	26
VIRTUAL DJ LE を使う	26
MIDI メッセージ一覧	27

08 その他

故障かな?と思ったら	34
エラー表示	36
ブロックダイヤグラム	36
本体表示部表示アイコン一覧	37
使用上のご注意	37
ディスクの取り扱いかた	37
商標および登録商標について	37

はじめに

本機の特長

本機は、世界中で使用されているクラブ機器であるパイオニア DJ 製品の高い操作性を継承した DJ プレーヤー / DJ ミキサー 一体型システムです。USB デバイスや CD、コンピュータの楽曲を使って簡単に本格的な DJ プレイを楽しめます。

MULTI MEDIA, MULTI FORMAT

音楽 CD だけでなく、USB デバイス (フラッシュメモリーなど) に記録されている音楽ファイル (MP3、AAC、WAV、AIFF) や CD-R/RW に記録されている音楽ファイル (MP3、WAV、AIFF) を再生できます。また、DJ ソフトウェアのコントローラーおよびオーディオインターフェースとして使うこともできます。

remotebox

本機は無線 LAN 機能を搭載しています。無償でダウンロードできるモバイルデバイスアプリ remotebox を使って、モバイルデバイスで本機をリモートコントロールできます。remotebox での操作により、多彩な DJ プレイを楽しめます。

rekordbox

付属の音楽管理ソフトウェア rekordbox (Mac/Windows) を使って、コンピュータ内の音楽ファイルをさまざまな方法で管理 (解析、設定、作成、履歴保存) できます。rekordbox で管理された音楽ファイルを本機と組み合わせて使うことによって、優れた DJ パフォーマンスを実現できます。

- 本書では、Mac/Windows 版 rekordbox を rekordbox と表記しています。

USB EXPORT

USB デバイスを使って rekordbox の音楽ファイルや管理データを受け渡しできます。

SOUND CARD

本機は他社製 DJ ソフトウェアをコントロールできる MIDI インターフェースを装備しています。また、サウンドカードを内蔵しているため、他の機器ともシンプルに接続できます。

BEAT SYNC

rekordbox で解析された楽曲の GRID 情報をもとに、左右のデッキのテンポ (BPM) と拍位置を自動的に同期させることができます。[TEMPO] スライダーを動かすことなく本格的なビートミックスを気軽に楽しめます。

QUANTIZE

rekordbox で解析された楽曲ならラフにボタンを押してもオンビートとなる QUANTIZE 機能を備えています。オートビートループ、ビートエフェクトを設定するときにボタンを押した位置に最も近い拍に自動で合わせます。

本機はオートビートループ、ビートエフェクト設定したときだけでなく、プレイ中にホットキューなどを使うときにも再生中のリズムを崩すことなくオンビートの確実なパフォーマンスを可能にします。

AUTO BEAT LOOP

[AUTO BEAT LOOP] ツマミを押すことにより、ビートを崩さず自動的にループを設定できます。[AUTO BEAT LOOP] ツマミを左右に回すことによりループの拍数を変更することができます。

BEAT FX

各デッキにビートエフェクトを装備しています。各デッキで再生中のトラックに個別にビートエフェクトを掛けることができます。

SOUND COLOR FX

音声に多彩な変化を与える 4 種類のエフェクトボタンを搭載しています。ボタンを押してツマミを回すだけで簡単に曲調をアレンジできます。

HOT CUE

ボタンを押すだけで事前に設定しておいたキューポイントから瞬時に再生できるホットキューを備えています。各デッキで 3 箇所ずつのホットキューを設定できます。

4-BEAT SAMPLER

本機に登録されたサンプリング音源を、ボタンを押すだけで再生することができます。サンプリング音源は USB デバイスおよび CD の楽曲の中から登録することができます。

3BAND ISOLATOR

高音域、中音域、低音域の音量を別々に調整できる 3 バンドイコライザーを搭載しています。好みに応じて音色を変えられるだけでなく、ツマミを左に回しきるとその音域の音を消せます (アイソレーター機能)。

VIRTUAL DJ LE

DJ プレイの基本機能が充実した DJ ソフトウェア「VIRTUAL DJ Limited Edition」のライセンスキーを同梱しています。同ソフトウェアは、Atomix productions 社のウェブサイトよりダウンロードできます。

ループ、エフェクト、サンプラー、4 チャンネルミックス、およびビデオなど多彩な機能をお使いいただけるだけでなく、本機の操作パネルに合わせたパイオニアオリジナルデザインスキンを表示できます。

準備する

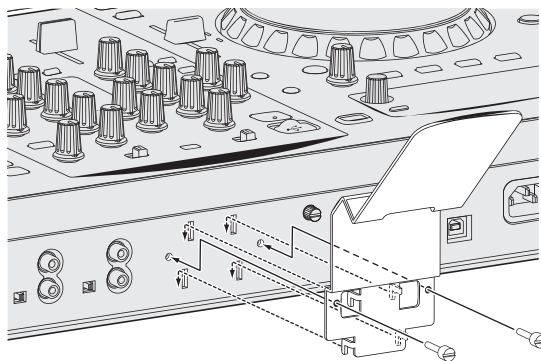
スマートフォンスタンドを取り付ける

1 スマートフォンスタンドのツメを本体背面にある穴に挿入してから、下へ突き当たるまでスライドさせる

- 付属のスタンド以外は、取り付けないでください。

2 付属のネジで固定する

- 付属のネジ以外は、使わないでください。



スマートフォンスタンドをお使いいただくときのご注意

- 本スタンドはスマートフォン専用のスタンドです。タブレット等、サイズの大きいものは設置しないでください。
- スタンドに必要な以上の力を加えないでください。本機の破損につながる恐れがあります。
- 端末の落下等による端末の故障・破損またはケガ等には、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

警告

付属のネジは幼児の手の届くところに置かないでください。万一飲み込んだ場合にはただちに医師と相談してください。

対応ソースについて

本機は以下のソースに対応しています。

- ディスク (4ページ)
- USB デバイス (5ページ)

付属の CD-ROM について

付属の CD-ROM からソフトウェアをコンピュータにインストールすると、本機とコンピュータを組み合わせでお使いいただけます。

付属の CD-ROM には以下 2 つのソフトウェアが含まれています。

- 音楽管理ソフトウェア rekordbox
- ドライバソフトウェア

使用できるメディア

ディスクについて

本機は以下のディスクを再生できます。

種類	マーク ^①	対応フォーマット	対応ファイルシステム
CD		• 音楽 CD (CD-DA) -	
CD-R		• 音楽 CD (CD-DA) • CD-ROM	ISO9660 level 1, ISO9660 level 2, Romeo and Joliet
CD-RW			

種類 マーク^① 対応フォーマット 対応ファイルシステム

CD-TEXT ^②		• 音楽 CD (CD-DA) -	
----------------------	--	-------------------	--

① 表中のマークがディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに表記されているディスクを再生できます。

② CD-TEXT に記録されているタイトル、アルバム名、アーティスト名を表示します。複数の TEXT 情報が記録されているときは、一番目の TEXT 情報を表示します。

❖ 再生できないディスク

- DTS-CD
- フォト CD
- ビデオ CD
- CD グラフィックス (CD-G)
- ファイナライズしていない CD
- DVD

❖ CD-R/-RW について

CD-R/-RW に記録されている音楽ファイル (MP3/WAV/AIFF) を再生できます。

フォルダ階層	最大 8 階層 (8 階層を超えるフォルダに含まれているファイルは再生できません)。
最大フォルダ数	999 フォルダ
最大ファイル数	999 ファイル

フォルダやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。

❖ コンピュータで作成したディスクの再生について

アプリケーションの設定やコンピュータの環境設定によっては、コンピュータで作成したディスクは再生できないことがあります。本機で再生可能なフォーマットで記録してください。詳しくは、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。

ディスクの特性・傷・汚れや記録レンズの汚れなどによって記録品質がよくないときは、再生できないことがあります。

ディスクの取り扱いについては、37ページの「ディスクの取り扱いかた」をご覧ください。

❖ バックアップディスク作成のおすすめ

CD-R/-RW は、一時停止またはキューポイントでの一時停止を長時間続けると、ディスクの性質上その場所が再生しづらくなることがあります。ループ再生を特定の場所で極端に繰り返したときも、その場所が再生しづらくなることがあります。

大切なディスクを再生するときは、バックアップディスクの作成をお勧めします。

❖ コピーコントロール CD について

本機は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作および性能は保証できません。

❖ DualDisc の再生について

「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。

DVD 面ではない、オーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。

なお、「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

❖ 8 cm ディスクについて

8 cm ディスクは再生できません。また、8 cm アダプターをディスクに取り付けて本機で再生しないでください。ディスクの回転中にアダプターが外れてディスクの破損および本機の故障の原因になります。

❖ CD-TEXT

本機は CD-TEXT に対応しています。CD-TEXT で記録されているタイトル、アルバム名、アーティスト名を表示します。複数の TEXT 情報が記録されているときは、一番目の TEXT 情報を表示します。対応文字コードは以下のとおりです。

- ASCII
- ISO-8859-1

USB デバイスについて

本機は、外付けハードディスク、携帯フラッシュメモリー、およびデジタルオーディオプレーヤーなどの USB マスストレージクラスの USB デバイスに対応しています。

フォルダ階層	最大 8 階層 (8 階層を超えるフォルダに含まれているファイルは再生できません)。
最大フォルダ数	999 フォルダ
最大ファイル数	10 000 ファイル (rekordbox で管理していないファイルのときは 999 ファイル)

対応ファイルシス FAT16、FAT32 (HFS+ および NTFS には対応していません)。

❖ 使用できない USB デバイス

- 外付け DVD/CD ドライブなどの光ディスク系デバイスは使えません。
- USB ハブは使えません。

❖ USB デバイスをお使いいただくときのご注意

- USB デバイスによっては正常に動作しないことがあります。本機との接続により、USB デバイスにお客様が記録されたデータが損失またはその他の直接・間接の障害が発生した場合でも、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機の USB デバイス挿入口に許容量以上の電流が流れると [USB STOP] インジケーターが点滅し、USB デバイスへの電源供給を停止して通信を止めることがあります。正常な状態に戻すためには、本機に接続された USB デバイスを取り外してください。過電流が検出された USB デバイスの再使用は避けてください。以上の方法で正常な状態に戻らない (通信しない) ときは、いったん本機の電源をオフしてから再度電源をオンしてください。
- USB デバイスに複数のパーティションの設定をしているときは、最初のパーティションだけ使えます。
- フラッシュカードリーダー搭載の USB デバイスは正常に動作しないことがあります。
- お使いの USB デバイスによっては期待したパフォーマンスが得られないことがあります。

再生できる音楽ファイルフォーマット

本機は以下のフォーマットに従った音楽ファイルに対応しています。

- CD-ROM 内の AAC ファイルは再生できません。
- AAC ファイルは、99 分までしか再生できません。

種類	ファイル拡張子	対応フォーマット	ビット処理	ビットレート	サンプリング周波数	エンコード方式
MP3	.mp3	MPEG-1 AUDIO LAYER-3	16 bit	32 kbps ~ 320 kbps	32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	CBR, VBR
		MPEG-2 AUDIO LAYER-3	16 bit	32 kbps ~ 160 kbps	16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz	CBR, VBR
AAC	.m4a, .aac, .mp4	MPEG-4 AAC LC	16 bit	16 kbps ~ 320 kbps	32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	CBR, VBR
		MPEG-2 AAC LC	16 bit	16 kbps ~ 320 kbps	32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	CBR, VBR
WAV	.wav	WAV	16 bit, 24 bit	—	44.1 kHz, 48 kHz	非圧縮 PCM
AIFF	.aif, .aiff	AIFF	16 bit, 24 bit	—	44.1 kHz, 48 kHz	非圧縮 PCM

MP3 ファイルについて

MP3 ファイルには、固定ビットレート (CBR : Constant Bit Rate) と可変ビットレート (VBR : Variable Bit Rate) があります。本機ではどちらのファイルでも再生できますが、VBR は CBR に比べサーチの速度が遅くなります。操作性を優先するときは CBR で記録することをお勧めします。

AAC ファイルについて

- AAC とは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2、MPEG-4 で使われる音声圧縮技術に関する基本フォーマットです。
- AAC データは、データ作成に使ったアプリケーションによってファイル形式と拡張子が異なります。
- 本機では、iTunes® によってエンコードされた、拡張子が「.m4a」の AAC ファイルのほか、「.aac」、「.mp4」を再生できます。ただし iTunes STORE 等で購入された著作権が保護されている AAC ファイルは再生できません。またエンコードする iTunes のバージョンによっては再生できないことがあります。

ID3 タグについて

音楽ファイルから読み込めるタグ情報は、ID3 タグ (v1、v1.1、v2.2.0、v2.3.0、v2.4.0) またはメタタグです。

コンピュータと組み合わせて使える機能

付属の CD-ROM について

付属の CD-ROM からソフトウェアをコンピュータにインストールすると、本機とコンピュータを組み合わせてお使いいただけます。付属の CD-ROM には以下 2 つのソフトウェアが含まれています。

◆ 音楽管理ソフトウェア rekordbox

rekordbox は、rekordbox に対応したパイオニア製 DJ プレーヤーをお買い上げいただいたお客様が、DJ プレイに使う音楽ファイルを管理するためのソフトウェアです。

- コンピュータに保存されている音楽ファイルを分類・検索し、DJ シーンに応じたプレイリストを作成できます。
- 音楽ファイルの拍位置（ビート）、テンポ（BPM）などをあらかじめ検出・測定・調整しておくことができます。
- ホットキューのポイント情報をあらかじめ設定・保存しておくことができます。

rekordbox で準備した各種ポイント情報やプレイリストを使ってパイオニア製 DJ プレーヤーで演奏できるだけでなく、演奏後の演奏履歴やポイント情報などを rekordbox にフィードバックできます。

◆ ドライバソフトウェア

本ドライバソフトウェアは、コンピュータからの音声を出力するための専用 ASIO ドライバです。本機を Windows がインストールされているコンピュータに接続してお使いになるときは、あらかじめコンピュータにドライバソフトウェアをインストールしてください。Mac OS X をお使いのときは、ドライバソフトウェアをインストールする必要はありません。詳しくは、25 ページの「ドライバソフトウェアをインストールする」をご覧ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書（以下「本契約」といいます）は、お客様とパイオニア株式会社（以下「当社」といいます）との間における、DJ 機器用ソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます）の使用に関する事項を定めるものです。

本ソフトウェアをインストールし、あるいはご利用になるにあたっては、必ず以下の条項をよくお読み下さい。お客様が本ソフトウェアをご利用になった場合は、本契約に同意されたものとします。もし本契約に同意されない場合には、本ソフトウェアのインストール及びご利用をおやめ下さい。

（使用許諾）

本契約の内容に従うことを条件として、お客様は、本ソフトウェアを一台のパーソナル・コンピュータ又は携帯端末にインストールして使用することができます。

（制限事項）

お客様は、本ソフトウェアの複製物を作成しあるいは配布し、またはネットワークを通じあるいは一台のコンピュータから別のコンピュータに送信してはなりません。また、お客様は、本ソフトウェアの変更、販売、貸与、譲渡、転売、本ソフトウェアの二次的著作物の頒布又は作成等を行うことはできず、さらに、逆コンパイル、リバース・エンジニアリング、逆アセンブルし、その他、人間の覚知可能な形態に変更することもできません。

（著作権等）

本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社あるいはその関連会社に帰属します。本ソフトウェアは、著作権法及び国際条約の規定により保護されています。

（保証及び技術サポートの否認）

本ソフトウェア及びそれに付随する一切の資料等は、あくまで「現状のまま」提供されます。当社は、お客様や第三者に対して、これらの商品性、特定目的への適合性、他人の権利を侵害しないこと、その他一切の事項について保証せず、また、これらに対する技術サポートを行うことも保証しません。なお、国や地域によっては強行法規によってかかる保証の否認が認められないことがありますので、その場合には、かかる

保証の否認は適用されないことがあります。また、お客様の権利は、国や地域によって異なります。

（責任制限）

当社、その他本ソフトウェアの供給者は、お客様が本ソフトウェア及びこれに付随する一切の資料を使用したこと又は使用できなかったことから生じる一切の損害（利益の逸失、ビジネスの中断、情報の消失・毀損などによる損害を含みますが、これらに限定されません）に関しては、たとえ当社が、そのような損害が生じる可能性を知らされていた場合であったとしても、一切責任を負いません。国や地域によっては強行法規によって付随的又は間接損害に対する責任の制限が認められないことがありますので、その場合には、かかる責任制限は適用されないことがあります。なお、いかなる場合においても、本ソフトウェアに関する当社またはその子会社の責任は、お客様が当社またはその子会社に対して支払った金額を超えないものとします。かかる保証の否認や責任制限は、お客様と当社との間の取り決めにおける基本的な要素です。

（準拠法）

本契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。本契約は、本ソフトウェアの使用について、お客様と当社の取り決めのすべてを記載するものであり、本件に関する従前のあらゆる合意（それが口頭でなされたか文書によりなされたかを問いません）に優先して適用されます。本契約に関連して紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

著作権についてのご注意

rekordbox では、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。

- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれているときは、プログラムが正しく動作できないことがあります。
- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知したときは、再生や読み込みなどの処理を中止することがあります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用する上でのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用する上でのすべての責任を負います。

rekordbox インストール時のご注意

rekordbox をインストールする前に「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。

- 付属の CD-ROM には、以下の 12 言語のインストールプログラムと操作説明書が収録されています。英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、オランダ語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、日本語
- その他の言語の OS でお使いになるときは、画面の指示に従って [English (英語)] を選んでインストールしてください。

対応 OS

Mac OS X (10.5.8、10.6、10.7 または 10.8)	○
Windows® 8/Windows® 8 Pro	32ビット版 ○ 64ビット版 ○
Windows® 7 Home Premium/Professional/Ultimate	32ビット版 ○ 64ビット版 ○
Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate (SP2以降)	32ビット版 ○ 64ビット版 ○
Windows® XP Home Edition/Professional (SP3以降)	32ビット版 ○

rekordbox の最新情報（対応 OS や動作環境など）については、rekordbox のオンラインサポートでご案内しております。（8ページ）

❖ rekordbox の最低動作環境

インストールを開始する前に、お使いになっているコンピュータが下記の動作環境に合っているかをご確認ください。

	Mac OS X のとき	デュアルコア 1.6 GHz 以上の Intel® プロセッサを搭載した Macintosh コンピュータ
CPU	Windows® 8、Windows® 7、Windows Vista® および Windows XP のとき	デュアルコア 2.0 GHz 以上の Intel® プロセッサを搭載した PC/AT 互換コンピュータ
	必要メモリー	1 GB 以上の RAM
ハードディスク	250 MB 以上の空き容量（音楽ファイルなどの保存に要する容量を除く）	
光学ドライブ	CD-ROM の読み込みが可能な光ディスクドライブ	
サウンド	スピーカーやヘッドホンなどへのオーディオ出力（内蔵または外付けのオーディオデバイス）	
インターネット接続	ユーザー登録およびお問い合わせの際には、128 ビット SSL に対応したウェブブラウザをお使いください。（Safari 2.0 以上または Internet Explorer® 6.0 以上など）。	
USB ポート	USB デバイス（フラッシュメモリーやハードディスクなど）に音楽ファイルを転送するときは、USB デバイスと接続するための USB ポートが必要です。	

- 上記の動作環境を満たしているすべてのコンピュータにおける動作を保証するものではありません。
- 上記の動作環境に記載されている必要メモリー容量を搭載していても、以下のような場合ではメモリー不足によってソフトウェアの機能・性能が発揮できないことがあります。このようなときは、十分な空きメモリーを確保してください。安定した動作をさせるにはメモリーの増設をお勧めします。
 - rekordbox のライブラリ内で管理されているトラックの数が多きとき
 - 常駐プログラムやサービスが動作しているとき
- コンピュータの省電力設定などの状態によっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型コンピュータをお使いのときは、AC 電源を接続するなどして、常に高パフォーマンス状態のセッティングで rekordbox をお使いください。
- お客様がお使いになっている他のソフトウェアとの組み合わせによっては、rekordbox の動作に不具合が発生することがあります。

rekordbox をインストールする

rekordbox をインストールする前に「rekordbox インストール時のご注意」をよくお読みください。

❖ インストールの手順 (Macintosh)

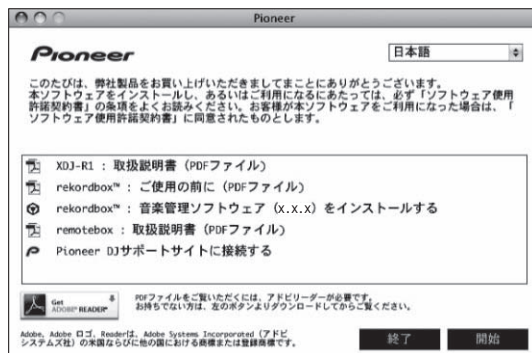
- rekordbox をインストール、アンインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログインしてからインストールしてください。

1 付属の CD-ROM をコンピュータの CD ドライブに挿入すると画面上に CD ドライブが開くので、[CD_menu.app] のアイコンをダブルクリックする

- CD-ROM を挿入しても画面上に CD ドライブが開かないときは、Finder で CD ドライブを開いてから [CD_menu.app] のアイコンをダブルクリックしてください。



2 CD-ROM のメニューが表示されたら、[rekordbox: 音楽管理ソフトウェアをインストールする] を選んで [開始] をクリックする



- CD-ROM のメニューを終了させるときは、[終了] をクリックしてください。

3 使用許諾契約画面が表示されたら、[日本語] を選んで「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読んでから [続ける] をクリックする

- お客様のコンピュータの環境によっては、複数の言語から表示言語を選べます。

4 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意されるときは、[同意します] をクリックする

- 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意しただけでないときは、[同意しません] をクリックして、インストールを中止してください。

5 画面の指示に従って rekordbox をインストールする

❖ インストールの手順 (Windows)

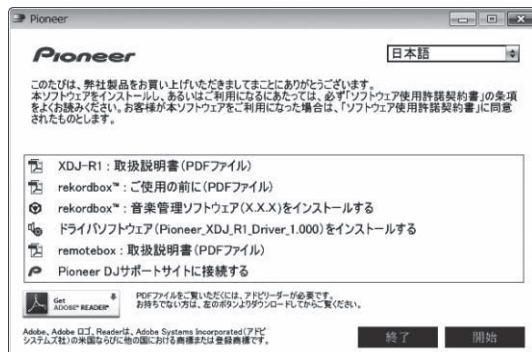
- rekordbox をインストール、アンインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログオンしてからインストールしてください。

1 付属の CD-ROM をコンピュータの CD ドライブに挿入する

CD-ROM のメニューが表示されます。

- CD-ROM を挿入しても CD-ROM のメニューが表示されないときは、[スタート] メニューの [コンピュータ (またはマイコンピュータ)] から CD ドライブを開き [CD_menu.exe] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROM のメニューが表示されたら、[rekordbox: 音楽管理ソフトウェアをインストールする] を選んでから [開始] をクリックする



- CD-ROM のメニューを終了させるときは、[終了] をクリックしてください。

3 言語選択画面が表示されたら、[日本語]を選んでから[OK]をクリックする

- お客様のコンピュータの環境によっては、複数の言語から表示言語を選べます。

4 使用許諾契約画面が表示されたら、「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意されるときは、[同意します]をクリックする

- 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意いただけないときは、[キャンセル]をクリックして、インストールを中止してください。

5 画面の指示に従って rekordbox をインストールする

- インストールを途中で中止するときは [キャンセル] をクリックしてください。

rekordbox を起動する / 操作説明書を参照する

コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログイン（またはログオン）してから rekordbox をお使いください。

- はじめて rekordbox を起動する際には、ライセンスキーを入力する必要があります。ライセンスキーは、CD-ROM の包装に貼り付けられています。

rekordbox を起動すると、rekordbox の [ヘルプ] メニューから操作説明書をご覧になります。

- コンピュータがインターネットに接続されていれば、オンラインマニュアルやオンラインサポートにもアクセスできます。

❖ Mac OS X のとき

Finder で [アプリケーション] フォルダを開いてから [rekordbox 2.x.x.app] をダブルクリックする

- 2.x.x は rekordbox のバージョンを示します。

❖ Windows® 8、Windows® 7、Windows Vista® および Windows® XP のとき

デスクトップ上の [rekordbox 2.x.x] アイコン（ショートカット）をダブルクリックする

- 2.x.x は rekordbox のバージョンを示します。

オンラインサポートのご利用について

rekordbox の操作方法や技術的な質問をお問い合わせいただく前に、rekordbox の操作説明書およびオンラインマニュアルをお読みいただくとともに rekordbox のオンラインサポートに掲載されております FAQ をご確認ください。

<rekordbox のオンラインサポート>

<http://rekordbox.com/>

- rekordbox についてお問い合わせいただくには、事前に rekordbox のオンラインサポートでユーザー登録を行う必要があります。
- ユーザー登録の際にはライセンスキーの入力が必要ですので、お手元にライセンスキーをご用意ください。なお、ユーザー登録の際にご指定いただきました「ログインネーム（お客様の e-mail アドレス）」と「パスワード」は、ライセンスキーと同様、お忘れにならないように十分ご注意ください。
- パイオニアグループでは、以下の使用目的のためお客様の個人情報収集させていただいております。
 - お買い上げいただいた商品のアフターサービスをご提供させていただくため
 - 商品に関する重要な情報やイベント情報を電子メールでお客様にお知らせするため
 - お客様よりアンケートを収集させていただき、調査結果を商品企画に反映するため
 - お客様から収集する個人情報は当社が定める個人情報保護方針に則って厳重に管理いたします。
 - 当社の個人情報保護方針は rekordbox のオンラインサポートでご覧いただけます。
- rekordbox についてのお問い合わせの際には、お客様のコンピュータの機種名およびスペックの詳細（CPU・メモリー搭載量・接続し

ている周辺機器など）・オペレーティングシステムのバージョン・具体的な不具合の症状を必ずご連絡ください。

— コンピュータや周辺機器など、当社の取り扱い製品以外の組み合わせや技術的な質問に関しては、各メーカーまたは販売代理店へご確認ください。

- 今後、rekordbox の機能・性能向上のためのバージョンアップを予定しております。rekordbox のオンラインサポートからアップデートプログラムをダウンロードできます。是非ともこのアップデートを行っていただき、常に最新バージョンをお使いいただけますようお願い申し上げます。

remotebox をインストールする

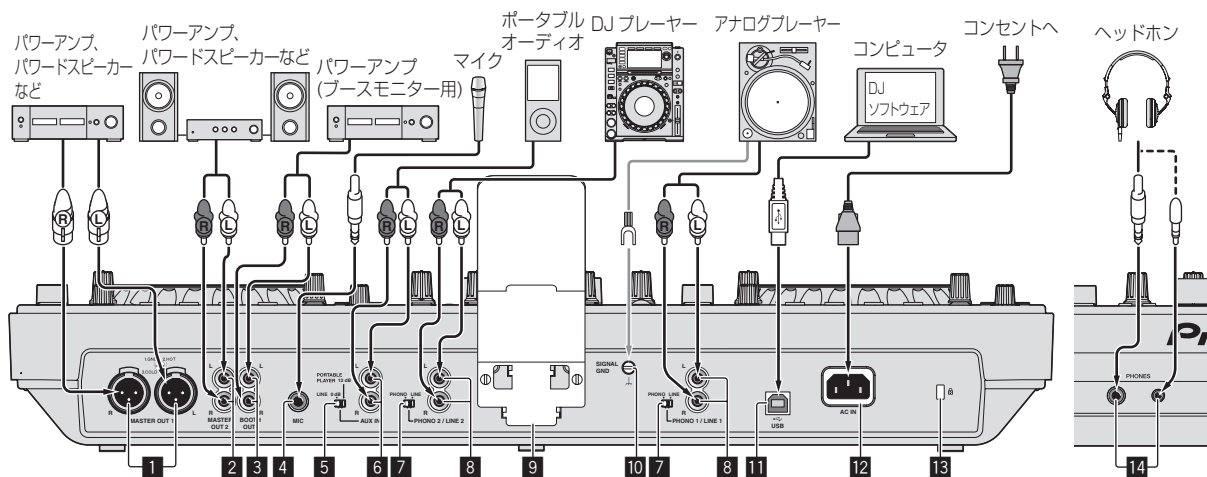
スマートフォンやタブレットデバイスなどのモバイルデバイスに remotebox をインストールしてください。インストール方法や対応 OS のバージョンについては、remotebox の取扱説明書または弊社ウェブサイト (<http://pioneerdj.com/support/>) をご覧ください。

接続する

- 電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 必ず付属の電源コードをお使いください。

入力 / 出力端子に接続する

本体背部部、本体前面部



本体背部部

本体前面部

1 MASTER OUT 1 端子

パワーアンプやパワードスピーカーなどを接続します。
必ずバランス出力としてお使いください。他製品の電源コードを誤って挿入しないようご注意ください。

2 MASTER OUT 2 端子

パワーアンプやパワードスピーカーなどを接続します。

3 BOOTH 出力端子

ブースモニター用出力端子です。

4 MIC 端子

マイクを接続します。

5 LINE, PORTABLE PLAYER 切換スイッチ

[AUX] 端子に入力される音声レベルによって切り換えます。

6 AUX IN 端子

DJ プレーヤーなどラインレベルの出力機器、またはポータブルオーディオプレーヤーなどのゲインが小さい機器を接続します。接続する機器に応じて本機背面の [LINE, PORTABLE PLAYER] 切換スイッチで端子の入力ゲインを切り換えます。

7 LINE, PHONO 切換スイッチ

[PHONO/LINE] 端子の機能を切り換えます。

8 PHONO1/LINE1 端子、PHONO2/LINE2 端子

アナログプレーヤーなどのフォノレベル (MM カートリッジ用) の出力機器、または DJ プレーヤーなどのラインレベルの出力機器を接続します。接続する機器に応じて、本機背面の [LINE, PHONO] 切換スイッチで端子の機能を切り換えられます。

9 スマートフォンスタンド

モバイルデバイスを載せます。
スマートフォンスタンドの取り付け方法については、4ページの「スマートフォンスタンドを取り付ける」をご覧ください。

10 SIGNAL GND 端子

アナログプレーヤーのアース線と接続します。アナログプレーヤー接続時の雑音低減を図ります。

11 USB 端子

- コンピュータと接続します。
- USB ハブは使えません。
- 性能維持のため本機とコンピュータは、付属の USB ケーブルを直接接続してお使いください。

12 AC IN

コンセントと接続します。
電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
必ず付属の電源コードをお使いください。

13 ケンジントンロック装着用穴

14 PHONES 端子

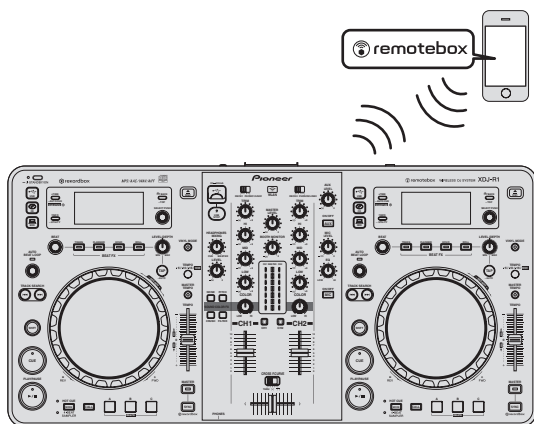
ヘッドホン接続します。
ステレオフォーンプラグ (Ø 6.3 mm) とステレオミニフォーンプラグ (Ø 3.5 mm) に対応しています。

- ステレオフォーンジャックとミニフォーンジャックの 2 つの出力端子がありますが、同時に使用しないでください。同時に使用すると片方の端子を抜き差しする際に、もう片方の音量が急に増減する場合があります。

無線 LAN で接続する

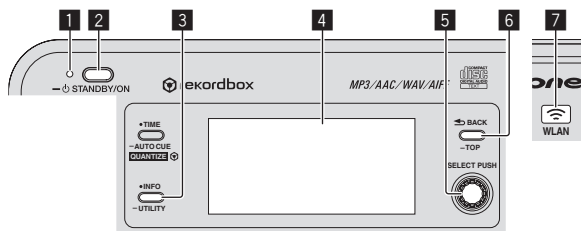
本機は、無線 LAN 接続に対応したモバイルデバイスとルーターなどを
使わず直接接続でき、モバイルデバイスアプリ (remotebox) を使って
DJ プレイが楽しめます。

ルーターを介した無線 LAN 接続には対応していません。



無線 LAN 機能の動作モードを設定する

本機を無線 LAN 接続する前に無線 LAN 機能の動作モードを設定します。
無線 LAN 機能の動作モードの設定、および無線 LAN 接続の設定では、
以下のボタンやツマミを使って操作します。



- 1 STANDBY/ON インジケータ
- 2 STANDBY/ON ボタン
- 3 INFO (UTILITY) ボタン
- 4 本体表示部
- 5 ロータリーセレクター (SELECT PUSH)
- 6 BACK (TOP) ボタン
- 7 WLAN インジケータ

1 [STANDBY/ON] ボタンを押す

本機の電源をオンにします。

[STANDBY/ON] インジケータが緑色に点灯します。

2 [INFO (UTILITY)] ボタンを 1 秒以上押す

[UTILITY] 画面が表示されます。

3 ロータリーセレクターを回して [WLAN SETTING] を選 んで、ロータリーセレクターを押す

[WLAN SETTING] の項目一覧は、24ページをご覧ください。

4 ロータリーセレクターを回して [MODE] を選んで、ロー タリーセレクターを押す

5 ロータリーセレクターを回して、設定したいモードを選 んで、ロータリーセレクターを押す

- [ENABLE]: 無線 LAN 機能を動作します。
- [DISABLE]: 無線 LAN 機能を停止します。

6 本体表示部に [APPLY CHANGES?] と表示されたら、ロー タリーセレクターを回して [YES] を選んで、ロータリーセ レクターを押す

続けて、ENABLE モードの接続を設定します。

ENABLE モードで無線 LAN 接続を設定する

1 [INFO (UTILITY)] ボタンを 1 秒以上押す

2 ロータリーセレクターを回して [WLAN INFO] を選んで、 ロータリーセレクターを押す

3 ロータリーセレクターを回して [SSID] を選んで、ロータ リーセレクターを押す

[SSID] をメモに取るなどして控えます。

- [SSID] は頭の 9 文字が表示されています。表示しきれない部分は
ロータリーセレクターを回転させると表示されます。

4 [BACK (TOP)] ボタンを押す

1 つ前の画面に戻ります。

5 ロータリーセレクターを回して、[PASSWORD] を選ん で、ロータリーセレクターを押す

[PASSWORD] をメモに取るなどして控えます。

6 モバイルデバイスまたはコンピュータの無線 LAN の接 続の設定から、接続可能な [SSID] を表示させる

- 接続可能な [SSID] の検索または表示方法は、お使いの機器の取扱説
明書をご覧ください。

7 モバイルデバイスまたはコンピュータ上で、手順 3 で確 認した [SSID] を選ぶ

8 手順 5 で控えたパスワードを入力する

- 安全のため初期パスワードの変更を必ず行ってください。パスワ
ードは、定期的に変更されることをお勧めします。

現在の無線 LAN 設定を確認する

1 [INFO (UTILITY)] ボタンを 1 秒以上押す

[UTILITY] 画面が表示されます。

2 ロータリーセレクターを回して [WLAN INFO] を選んで、 ロータリーセレクターを押す

[WLAN INFO] の項目一覧は、23ページをご覧ください。

3 確認したい項目を選んで、ロータリーセレクターを押す

設定されている内容が表示されます。

- [BACK (TOP)] ボタンを押すと、[WLAN INFO] 画面に戻ります。

4 [INFO (UTILITY)] ボタンを押す

[UTILITY] 画面を閉じます。

SSID、パスワードを変更する

1 [INFO (UTILITY)] ボタンを 1 秒以上押す

[UTILITY] 画面が表示されます。

2 ロータリーセレクターを回して [WLAN SETTING] を選 んで、ロータリーセレクターを押す

3 ロータリーセレクターを回して [NETWORK SETTING] を選んで、ロータリーセレクターを押す

4 ロータリーセレクターを回して [SSID] を入力して、ロー タリーセレクターを押す

5 ロータリーセレクターを回して [SECURITY] 方式を設定 する

[WEP64]: 5 文字のパスワードを設定できます。

[WEP128]: 13 文字のパスワードを設定できます。

[OPEN]: パスワードを設定しません。誰でもアクセスできます。

- セキュリティレベル強化のため、[WEP128] での設定と定期的なパ
スワードの変更を推奨します。

6 ロータリーセレクターを回して [PASSWORD] を設定する

7 本体表示部に [APPLY CHANGES?] と表示されたら、ロータリーセクターを回して [YES] を選んで、ロータリーセクターを押す

8 [INFO(UTILITY)] ボタンを押す

[UTILITY] 画面を閉じます。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

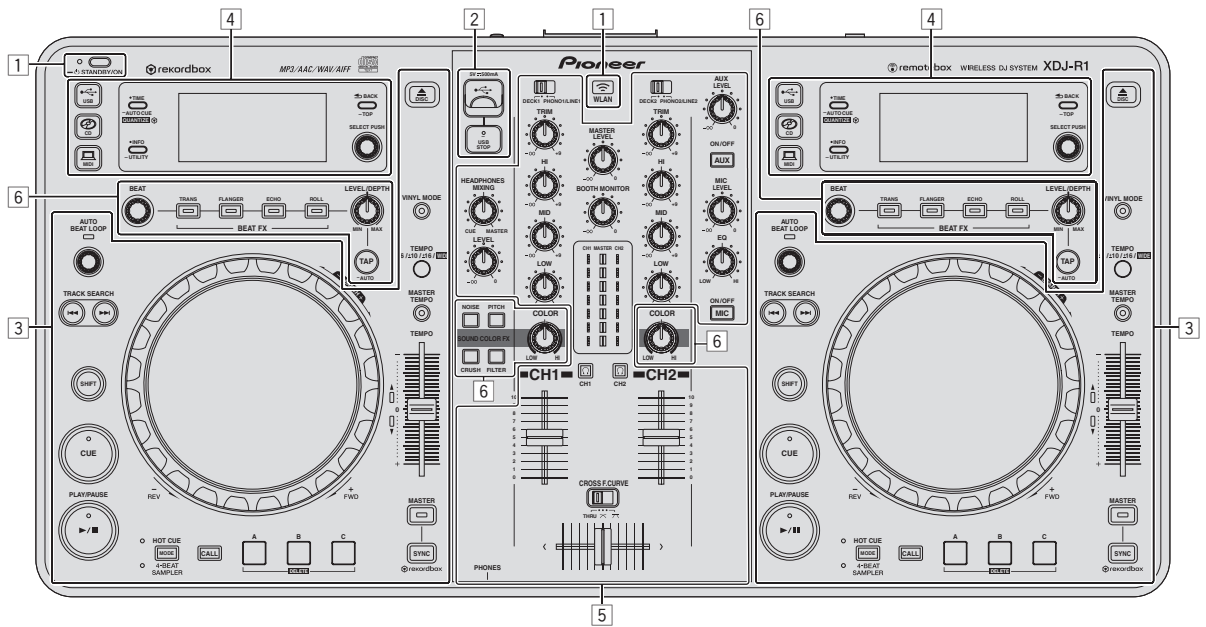
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID、パスワードおよびクレジットカード番号等の個人情報やメールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
不正に侵入される悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）およびコンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をさせてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

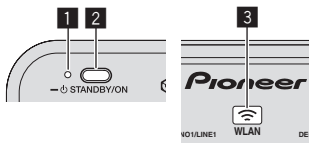
セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

各部の名前とはたらき



- ① パワー & ワイヤレスセクション (13ページ)
- ② USB デバイスセクション (13ページ)
- ③ プレーヤーセクション (13ページ)
- ④ ブラウズセクション (16ページ)
- ⑤ ミキサーセクション (17ページ)
- ⑥ エフェクトセクション (18ページ)

パワー & ワイヤレスセクション



1 STANDBY/ON インジケーター

本機の電源がオン / スタンバイのとき点灯します。

2 STANDBY/ON ボタン

本機の電源をオン / スタンバイにします。

⇒ 「電源の入れかた」(p.20)

⇒ 「スタンバイ状態にするとき」(p.20)



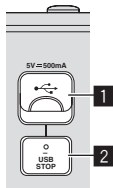
注意

製品の仕様により、本体部やリモコン（付属の場合）のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ（遮断装置）に簡単に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

3 WLAN インジケーター

モバイルデバイスとリンクが確立しているとき点灯します。

USB デバイスセクション



1 USB デバイス挿入口

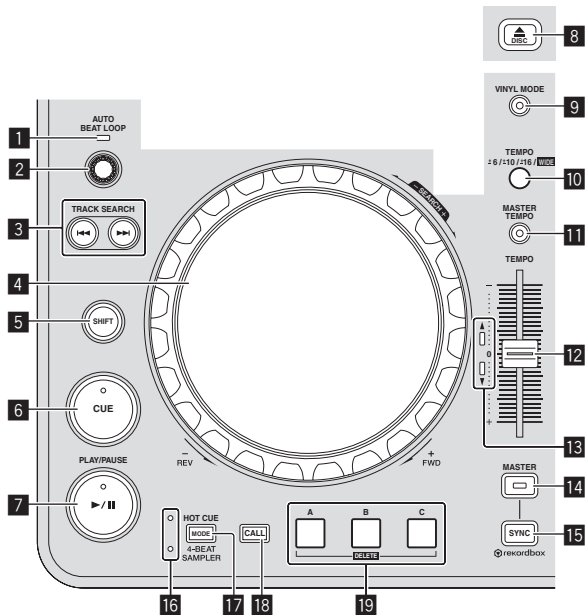
USB デバイスを挿入します。

⇒ 「USB デバイスの接続のしかたと外しかた」(p.21)

2 USB STOP ボタン

USB デバイスを本機から取り外す前に 2 秒以上押します。

プレーヤーセクション



各部の名前とはたき

1 AUTO BEAT LOOP インジケーター

ループ再生中に点灯します。

2 AUTO BEAT LOOP ツマミ

- 回す：
オートビートループのループの長さを拍数で設定します。
- 押す：
ループ再生をオン / オフします。

3 TRACK SEARCH ◀◀ ▶▶ ボタン

トラックを頭出しします。

4 ジョグダイヤル

- スクラッチ
ジョグダイヤルが [VINYL] モードのとき、ジョグダイヤルの天面の金属部に触れながら回すと、回転方向と回転速度に応じて再生します。
- ピッチバンド
再生中にジョグダイヤルの外周部分を回すと、再生速度を調整できます。

5 SHIFT ボタン

[SHIFT] ボタンを押しながら他のボタンを押すと別の機能呼び出せます。

6 CUE ボタン

キューポイントを設定します。またはキューポイントに移動します。
⇒ 「キューを設定する」(p.14)

7 ▶/|| (PLAY/PAUSE) ボタン

トラックを再生 / 一時停止します。

8 DISC▲ ボタン

ディスクを取り出します。
⇒ 「ディスクの出しかた」(p.20)

9 VINYL MODE ボタン

[VINYL] モード、通常モードを切り換えます。

10 TEMPO RANGE ボタン

押すたびに [TEMPO] スライダーの可変範囲を切り換えます。

11 MASTER TEMPO ボタン

マスターテンポをオン / オフします。

12 TEMPO スライダー

トラックの再生速度を調整します。

13 TEMPO インジケーター

上または下のインジケーターが点灯しているときに、[TEMPO] スライダーを点灯している側にインジケーターが消えるまでずらすと、[TEMPO] スライダーでの操作が可能になります。インジケーター点灯中は、[TEMPO] スライダーでの操作は無効です。

14 MASTER ボタン

本機にロードされたトラックをビートシンク機能でのマスターにします。

⇒ 「SYNC 機能を使う」(p.22)

15 SYNC ボタン

マスターデッキのテンポに同期します。

⇒ 「SYNC 機能を使う」(p.22)

16 HOT CUE/4-BEAT SAMPLER インジケーター

ホットキュー / サンプラーセクションがホットキュー機能またはサンプラー機能のどちらに設定されているかを点灯して示します。

17 MODE (HOT CUE/4-BEAT SAMPLER) ボタン

押すたびにホットキュー / サンプラーセクションの機能を切り換えます。

18 CALL ボタン

ホットキューを呼び出します。

19 HOT CUE/4-BEAT SAMPLER (A, B, C) ボタン

ホットキュー機能で使うとき

• 押す：

— 再生中または一時停止中にホットキューが設定されていないとき：

ボタンを押した位置にホットキューを設定します。

— 再生中または一時停止中にホットキューが設定されているとき：

ホットキューを再生します。

• [SHIFT] + 押す：

ホットキューを削除します。

サンプラー機能で使うとき

詳しくは、16ページの「サンプラー機能を使う」をご覧ください。

再生する

[▶/II (PLAY/PAUSE)] ボタンを押す

❖ 一時停止する

再生中に [▶/II (PLAY/PAUSE)] ボタンを押す

- ふたたび [▶/II (PLAY/PAUSE)] ボタンを押すと、再生を再開します。
- ディスクからトラックをロード中の場合、一時停止したまま 100 分間以上操作しないと、自動的にディスクの回転を停止します。

早送り / 早戻しする (サーチ)

[SHIFT] ボタンを押しながらジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルを回す方向に高速で早送り / 早戻しします。

- [SHIFT] ボタンから指を放すと、この機能は解除されます。
- ジョグダイヤルの回転を止めると、通常の再生を再開します。
- ジョグダイヤルの回転速度に応じて早送り / 早戻し速度を調節できます。

頭出しする (トラックサーチ)

[TRACK SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押す

[▶▶] を押すと次のトラックの先頭に進みます。

[◀◀] を押すと再生中のトラックの先頭に戻ります。2 回続けて押すと 1 つ前のトラックの先頭に戻ります。

- カテゴリー / フォルダを飛び越えて頭出しはできません。

フレームサーチ

一時停止中にジョグダイヤルを回す

1 フレーム単位で一時停止位置を移動できます。

- 時計回りで再生方向、反時計回りで逆方向に移動します。ジョグダイヤルを 1 回転すると 135 フレーム移動します。

スーパー・ファースト・トラックサーチ

[TRACK SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押しながらジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルを回す方向に高速でトラックを送ります。

再生速度を調整する (テンポコントロール)

[TEMPO] スライダーを前後に動かす

スライダーを [+] (手前) 側に動かすと再生速度が速くなり、[-] (奥) 側に動かすと再生速度が遅くなります。

再生速度を変化させている割合が本体表示部に表示されます。

❖ 再生速度の調整範囲を選ぶ

[TEMPO RANGE] ボタンを押す

ボタンを押すたびに再生速度の調整範囲が切り換わります。

本体表示部の [WIDE, ±16, ±10, ±6] が表示されます。

- [±6] % では 0.02 % 単位、[±10] %、[±16] % では 0.04 % 単位、[WIDE] では 0.5 % 単位で調整できます。
- [WIDE] の調整範囲は ± 100 % です。- 100 % に設定すると再生が停止します。
- [WIDE] は音楽 CD (CD-DA) を再生しているときだけ選べます。

❖ 音程を変えずに再生速度を調整する (マスターテンポ)

[MASTER TEMPO] ボタンを押す

[MASTER TEMPO] インジケーターが点灯します。[TEMPO] スライダーで再生速度を変えても音程は変わりません。

- 音声をデジタル加工するため音質が変化します。

キューを設定する

1 再生中に [▶/II (PLAY/PAUSE)] ボタンを押す

再生を一時停止します。

2 [CUE] ボタンを押す

一時停止していた位置が、キューポイントに設定されます。

[▶/II (PLAY/PAUSE)] インジケーターが点滅し、[CUE] インジケーターが点灯します。このとき音声は出力されません。

- 新しいキューポイントを設定すると、以前に設定したキューポイントは解除されます。

❖ キューポイントの位置を修正する

1 キューポイントで一時停止中に [SHIFT] ボタンを押しながら、ジョグダイヤルの天面を触る

[▶/II (PLAY/PAUSE)] インジケーターと [CUE] インジケーターが点滅します。

1 フレーム単位でキューポイントを微調整できます。

2 [CUE] ボタンを押す

ボタンを押した位置が新しいキューポイントに設定されます。

- 新しいキューポイントを設定すると、以前に設定したキューポイントは解除されます。

❖ キューポイントに戻る (バックキュー)

再生中に [CUE] ボタンを押す

設定されているキューポイントに瞬時に戻り、頭出しされて一時停止状態になります。

- ▶/II (PLAY/PAUSE) ボタンを押すと、キューポイントから再生が始まります。

❖ キューポイントを確認する (キューポイントサンプラー)

キューポイントに戻ったあとに [CUE] ボタンを押し続ける

設定されているキューポイントから再生が始まります。ボタンを押し続けている間、再生を続けます。

曲のテンポをもとに自動的にループを設定する (オートビートループ)

1 再生中に [AUTO BEAT LOOP] ツマミを回して、ループ再生の長さを拍数で設定する

本体表示部の表示内容がオートビートループ / エフェクト表示に切り換わります。

2 [AUTO BEAT LOOP] ツマミを押して、ループ再生を始める

曲のテンポ (BPM) に従ってループアウトポイントを自動的に設定してループ再生を始めます。

- BPM 値が表示されていないときは、正しくループ再生できません。
- オートビートループを設定するとキューポイントがループインポイントに移動します。
- ループ再生中に [AUTO BEAT LOOP] ツマミを押すと、ループ再生が解除されます。

ジョグダイヤルを操作する

- ジョグダイヤルの天面にはスイッチが内蔵されています。物を載せたり、強い力を加えないでください。
- 飲料水などの液体が製品内部に入ると故障の原因になります。

❖ ジョグダイヤルのモードを切り換える

ジョグダイヤルには、以下 2 つのモードがあります。

- [VINYL] モード：再生中にジョグダイヤル天面の金属部に触れると再生を停止し、そのまま回すと回転に応じた音声が出力されます。
- 通常モード：ジョグダイヤル天面の金属部に触れても再生は停止しません。またスクラッチなどの操作ができません。

[VINYL MODE] ボタンを押す

[VINYL] モードに切り換えると、[VINYL MODE] ボタンが点灯します。

❖ スクラッチ

ジョグモードを [VINYL] モードに設定しているとき、ジョグダイヤル天面の金属部に触れながら回すことによってジョグダイヤルの回転方向と回転速度に応じた再生ができます。

1 [VINYL MODE] ボタンを押す

ジョグモードを [VINYL] モードに設定します。

2 再生中にジョグダイヤル天面の金属部に触れる

再生が停止します。

3 ジョグダイヤル天面の金属部に触れたまま、ジョグダイヤルを再生したい方向と速度で回す

ジョグダイヤルの回転方向と回転速度に応じて音声が再生されます。

4 ジョグダイヤル天面の金属部から手を放す

通常の再生に戻ります。

❖ ピッチベンド

再生中にジョグダイヤルの外周部分を回す

時計回りに回すと再生速度が加速します。反時計回りに回すと再生速度が減速します。回転を止めると、通常の再生速度に戻ります。

- ジョグモードを通常モードに設定しているときは、ジョグダイヤルの天面を回しても同じ操作ができます。

ホットキューを使う

ホットキューを設定しておく、ポイントを呼び出して瞬時にそのポイントから再生を始められます。設定できるホットキューは、1 枚のディスクにつき最大 3 個まで、また USB デバイス上の音楽ファイルは 1 トラックにつき最大 3 個までです。

❖ ホットキューを設定する

1 [MODE (HOT CUE/4-BEAT SAMPLER)] ボタンを押し、ホットキュー機能に切り換える

[HOT CUE] インジケータが点灯します。

2 再生中または一時停止中にホットキューに設定したい位置で [HOT CUE/4-BEAT SAMPLER (A, B, C)] ボタンのいずれかを押す

ボタンを押した位置がホットキューに設定され、[HOT CUE/4-BEAT SAMPLER (A, B, C)] ボタンが青色に点灯します。

- ループ再生中の場合は、ループがホットキューとして登録されます。
- ホットキューには再生方向は記録されません。
- スクラッチプレイ中にホットキューを設定すると、再生が一旦停止することがあります。
- クオンタイズ機能をオンにしているときは拍に合わせるために、機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。
- [HOT CUE/4-BEAT SAMPLER (A, B, C)] ボタンに、ホットキューが既に記録されているときは、記録できません。新たに記録したいときは、記録されているホットキューを削除してください。

❖ ホットキューを再生する

再生中または一時停止中に [HOT CUE/4-BEAT SAMPLER (A, B, C)] ボタンのいずれかを押す

そのボタンに記録されているホットキューを呼び出して再生を始めます。

❖ ホットキューを呼び出す (ディスク)

1 ディスクを本機にセットする

2 [CALL] ボタンを押す

ホットキューの呼び出しモードに切り換わり、ホットキューが記録されている [HOT CUE/4-BEAT SAMPLER (A, B, C)] ボタンが点滅します。

3 ホットキューを呼び出したい [HOT CUE/4-BEAT SAMPLER (A, B, C)] ボタンを押す

ホットキューが呼び出され、[HOT CUE/4-BEAT SAMPLER (A, B, C)] ボタンが青色に点灯します。

- ホットキューを呼び出したいときは、[HOT CUE/4-BEAT SAMPLER (A, B, C)] ボタンを押さないまま、[CALL] ボタンを押します。ホットキューが呼び出されなかったボタンは消灯します。

❖ ホットキューを呼び出す (記録メディア (USB))

1 記録メディア (USB) を本機にセットする

2 ホットキューを呼び出したいトラックをロードする

3 [CALL] ボタンを押す

ホットキューの呼び出しモードに切り換わり、ホットキューが記録されている [HOT CUE/4-BEAT SAMPLER (A, B, C)] ボタンが点滅します。

4 ホットキューを呼び出したい [HOT CUE/4-BEAT SAMPLER (A, B, C)] ボタンを押す

ホットキューが呼び出され、[HOT CUE/4-BEAT SAMPLER (A, B, C)] ボタンが青色に点灯します。

- ホットキューを呼び出したいときは、[HOT CUE/4-BEAT SAMPLER (A, B, C)] ボタンを押さないまま、[CALL] ボタンを押します。ホットキューが呼び出されなかったボタンは消灯します。
- ホットキューの呼び出しモードを誤って解除してしまったときは、もう一度 [CALL] ボタンを押します。
- トラックロード時に自動でホットキューを呼び出すように rekordbox であらかじめ設定することもできます。ホットキューの自動ロードが設定されているトラックはトラック

リスト内で  が表示されます。

❖ ホットキューを削除する

[SHIFT] ボタンを押しながら、[HOT CUE/4-BEAT SAMPLER (A, B, C)] ボタンのいずれかを押す

該当するボタンに記録されているホットキューが削除され、ボタンが消灯し、新たに記録できるようになります。

サンプラー機能を使う

4 拍分の音声をサンプリングすることができます。記録したサンプリング音声は後で呼び出して再生することができます。

- サンプリング音声はデッキごとに 3 つまで記録できます。
- サンプラー音声を編集 (記録 / 削除) した際には、必ず [STANDBY/ON] ボタンで電源を切ってください。
- [STANDBY/ON] ボタンを押さずに電源を切ると、編集した内容が残りません。

❖ サンプリング音声を記録する

1 [MODE (HOT CUE/4-BEAT SAMPLER)] ボタンを押し、サンプラー機能に切り換えます。

[4-BEAT SAMPLER] インジケーターが点灯します。

2 [HOT CUE/4-BEAT SAMPLER (A, B, C)] ボタンを押す

ボタンを押した位置を記録開始位置として、4 拍分または最初の 5 秒がサンプリングされ、ボタンが青色に点灯します。

- [HOT CUE/4-BEAT SAMPLER (A, B, C)] ボタンにサンプリング音声が既に記録されているときは、記録できません。新たに記録したいときは、記録されているサンプリング音声を削除してください。

❖ サンプリング音声を再生する

[HOT CUE/4-BEAT SAMPLER (A, B, C)] ボタンを押し続けるボタンを押し続けている間、サンプリング音声を再生します。

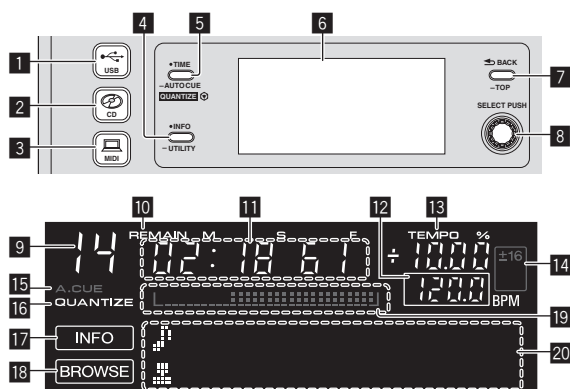
- サンプリング音声の音量は [UTILITY] メニューの [SAMPLE LEVEL] で調整できます。

❖ サンプリング音声を削除する

[SHIFT] ボタンを押しながら、[HOT CUE/4-BEAT SAMPLER (A, B, C)] ボタンのいずれかを押す

該当するボタンに記録されているサンプリング音声が削除され、ボタンが消灯し、新たに記録できるようになります。

ブラウズセクション



1 USB ボタン

USB デバイス内の音楽ファイルを再生するときに押します。

⇒ 「本機にセットされたメディアを再生する」(p.21)

2 CD ボタン

CD または CD-ROM 内の音楽ファイルを再生するときに押します。

⇒ 「本機にセットされたメディアを再生する」(p.21)

3 MIDI ボタン

DJ ソフトウェアを使うときに押します。

⇒ 「DJ ソフトウェアを使う」(p.26)

4 INFO (UTILITY) ボタン

- 押す：
本体表示部をインフォメーション表示モードに切り換えます。インフォメーション表示モードのとき、ボタンを押すたびに情報表示部をトラック名表示、ビート表示、またはオートループ / エフェクト表示に切り換えます。
- 1 秒以上押す：
[UTILITY] 画面を表示します。
⇒ 「設定を変更する」(p.23)

5 TIME (AUTO CUE、QUANTIZE) ボタン

- 押す：
本体表示部の時間表示方法を経過時間表示または残り時間表示に切り換えます。
- 1 秒以上押す：
1 秒以上押すとオートキューをオン / オフします。
- [SHIFT] + 押す：
QUANTIZE 機能をオン / オフします。
⇒ 「QUANTIZE 機能を使う」(p.22)

6 本体表示部

7 BACK (TOP) ボタン

- 押す：
階層を 1 つ上に戻します。
- 1 秒以上押す：
1 秒以上押すと一番上の階層に移動します。

8 ローターセレクター (SELECT PUSH)

9 トラック番号を表示します。

10 REMAIN

時間表示を残り時間表示に設定しているときに表示されます。

11 時間表示 (分、秒、フレーム)

12 BPM

再生しているトラックの BPM (=Beats Per Minute. 1 分間の拍数) を表示します。

[TEMPO] スライダーの位置に従って、数値が変化します。

13 TEMPO %

再生速度を変化させている割合を表示します。

14 再生速度可変範囲表示

再生速度を調整できる範囲を表示します。

15 A. CUE

オートキューを設定しているときに表示されます。

16 QUANTIZE

[QUANTIZE] をオンに設定しているときに表示されます。

17 INFO

本体表示部がインフォメーション表示モードのときに表示されます。

18 BROWSE

本体表示部がブラウズ表示モードのときに表示されます。

19 プレーイングアドレス表示

トラック (1 曲) を棒グラフで表示します。経過時間を表示するときはグラフの左端から点灯します。残り時間を表示するときは左端から消灯します。トラックの残り時間が 30 秒以下になるとグラフ全体がゆっくり点滅し、15 秒以下になると早く点滅します。

20 情報表示部**ブラウズ表示モードを切り換える**

ブラウズ表示モードには、ライブラリブラウズとフォルダブラウズの 2 通りの表示方法があります。USB デバイスに rekordbox のライブラリ情報が記録されているときと、ライブラリ情報が記録されていないときでは表示方法が異なります。

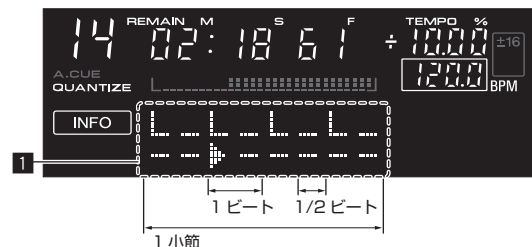
- ライブラリ情報が記録されているとき: ライブラリブラウズで表示します。音楽ファイルを 5 つのカテゴリー (アーティスト、アルバム、タイトル、BPM、プレイリスト) で表示します。
- ライブラリ情報が記録されていないとき: フォルダブラウズで表示します。メディア内のフォルダ/トラックをツリー構造で表示します。

インフォメーション表示モードを切り換える

[INFO (UTILITY)] ボタンを押すごとに、情報表示部の表示がトラック名、ビート表示、またはオートループ/エフェクト表示に切り換わります。

❖ ビート表示機能を使う

再生しているトラックの拍位置 (ビート) と再生位置を表示します。

**1** ビート表示部**2** オートループ/エフェクト表示部

- インフォメーション表示モードでトラック名表示を選んでいるとき、以下の操作を行うと自動的にオートループ/エフェクト表示に切り換わります。
 - オートビートループの設定
 - エフェクトの設定

オートキューを設定する

トラックをロードしたとき、または頭出し (トラックサーチ) したとき、トラック先頭の無音部分を飛ばして音声が始まる直前に自動でキューポイントを設定します。

[TIME (AUTO CUE、QUANTIZE)] ボタンを 1 秒以上押す

オートキューがオンに設定されます。

本体表示部の [A. CUE] が表示されます。

- [TIME (AUTO CUE、QUANTIZE)] ボタンをふたたび 1 秒以上押すと、オートキューがオフに設定されます。
- 電源をオフにしてもオートキューの設定は記憶されます。

❖ オートキューレベルを変更する

オートキューで無音部として認識する音圧レベルを 8 段階から選べます。

- 電源をオフにしてもオートキューレベルの設定は記憶されます。

1 [INFO (UTILITY)] ボタンを 1 秒以上押す

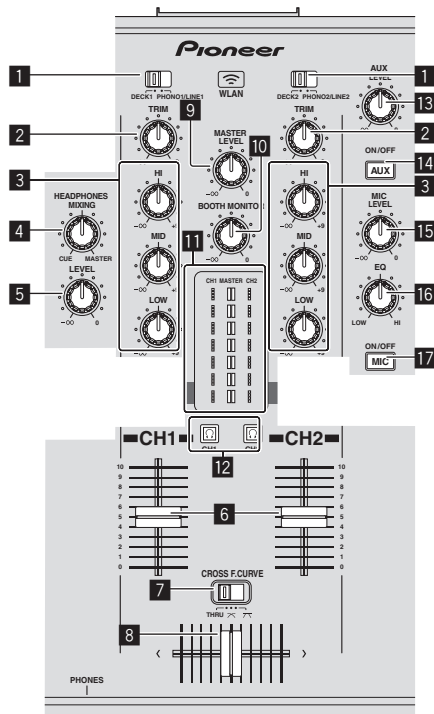
[UTILITY] 画面が表示されます。

2 ロータリーセレクターを回してから押す

[A. CUE LEVEL] を選びます。

3 ロータリーセレクターを回してから押す

オートキューレベルの設定を変更します。

ミキサーセクション**1 DECK、PHONO/LINE 切換スイッチ**

本機に接続している機器の中から [CH 1] または [CH 2] の入力ソースを選びます。

- [PHONO/LINE] に設定すると、ミキサーセクションを DJ ミキサーとして使うことができます。

2 TRIM ツマミ


各チャンネルに入力される音声レベルを調整します。

3 EQ (HI、MID、LOW) ツマミ

各チャンネルの音質を調整します。

[HI] (高音域)、[MID] (中音域)、[LOW] (低音域) をそれぞれ調整します。

4 HEADPHONES MIXING ツマミ

[] ボタンが押してあるデッキの音声とマスター音声のモニター音量バランスを調整します。

5 HEADPHONES LEVEL ツマミ

[PHONES] 端子から出力される音声レベルを調整します。

6 チャンネルフェーダー

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

7 CROSS F. CURVE (THRU, ㄨ, ㄨ) (クロスフェーダーカーブ切換スイッチ)

クロスフェーダーのカーブ特性を切り換えます。

8 クロスフェーダー

各チャンネルの音声を [THRU, ㄨ, ㄨ] 切換スイッチで選んでいるカーブ特性に従って出力します。

9 MASTER LEVEL ツマミ

[MASTER OUT 1] 端子および [MASTER OUT 2] 端子から出力される音声レベルを調整します。

10 BOOTH MONITOR ツマミ

[BOOTH] 端子から出力される音声レベルを調整します。

11 LEVEL インジケーター

各チャンネルの音声レベルを表示します。

12 [] (CH1, CH2) ボタン

[CH 1] または [CH 2] の音声をモニターします。

13 AUX LEVEL ツマミ

[AUX IN] 端子に入力される音声レベルを調整します。

14 AUX (ON/OFF) ボタン

AUX をオン / オフします。

15 MIC LEVEL ツマミ

[MIC] 端子に入力される音声レベルを調整します。

16 MIC EQ ツマミ

マイクの音質を調整します。

17 MIC (ON/OFF) ボタン

マイクをオン / オフします。

音質を調整する

各チャンネルの [HI] ツマミ、[MID] ツマミ、または [LOW] ツマミを回す

- ツマミを左に回しきると、それぞれの音域の音声を消せます (アイソレーター機能)。

ヘッドホンで音声をモニターする

1 [PHONES] 端子にヘッドホンを接続する

接続の仕方については、9ページの「入力 / 出力端子に接続する」をご覧ください。

2 [] (CH1) ボタンまたは [] (CH2) ボタンを押す

モニターしたいチャンネルを選びます。

- [MASTER OUT 1] 端子および [MASTER OUT 2] 端子から出力される音声 (マスターチャンネルの音声) をモニターするときは、この操作は必要ありません。

3 [HEADPHONES MIXING] ツマミを回す

- 左に回す: [CH 1]、[CH 2] の音量が相対的に大きくなります。
- センター位置: [CH 1]、[CH 2] の音声と [MASTER OUT 1] 端子および [MASTER OUT 2] 端子から出力される音声 (マスターチャンネルの音声) が同じ音量になります。
- 右に回す: [MASTER OUT 1] 端子および [MASTER OUT 2] 端子から出力される音声 (マスターチャンネルの音声) の音量が相対的に大きくなります。

4 [HEADPHONES LEVEL] ツマミを回す

音声ヘッドホンから出力されます。

- [] (CH1) ボタンまたは [] (CH2) ボタンをふたたび押すと、モニターが解除されます。
- [MASTER OUT 1] 端子および [MASTER OUT 2] 端子から出力される音声 (マスターチャンネルの音声) のモニターは解除できません。

マイクを使う

1 [MIC (ON/OFF)] ボタンを押す

2 [MIC LEVEL] ツマミを右に回す

スピーカーからマイクの音声出力されます。

❖ 音質を調整する

[MIC EQ] ツマミを回す

- 右に回しきると低音の減衰量が最大になります。
- 左に回しきると高音の減衰量が最大になります。

AUX を使う

1 [AUX (ON/OFF)] ボタンを押す

2 [AUX LEVEL] ツマミを回す

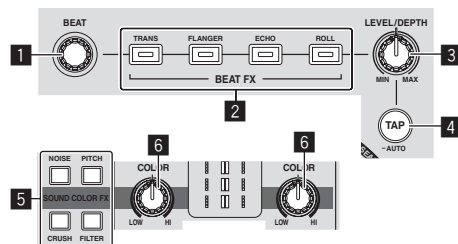
[AUX IN] 端子に入力される音声レベルを調整します。

[BOOTH] 端子から音声を出力する

[BOOTH MONITOR] ツマミを回す

[BOOTH] 端子から出力される音声レベルを調整します。

エフェクトセクション



1 BEAT ツマミ

BEAT FX を同期させる拍の倍率を選びます。

2 BEAT FX (TRANS, FLANGER, ECHO, ROLL) ボタン

各 BEAT FX をオン / オフします。

3 LEVEL/DEPTH ツマミ

BEAT FX の量的パラメーターを調整します。

4 TAP (AUTO) ボタン

BPM の測定モードを切り換えます。

- AUTO モード: [TAP (AUTO)] ボタンが点灯し、入力されている音声信号から BPM を自動測定します。本機の電源をオンにしたときは、[AUTO] に設定されます。
- TAP モード: [TAP (AUTO)] ボタンが点灯し、[TAP (AUTO)] ボタンを指で叩いて BPM を手動で入力します。[TAP (AUTO)] ボタンを押すと、TAP モードになります。
- AUTO モードの BPM 測定範囲は、BPM=70 ~ 180 です。曲によっては正しく測定できないことがあります。
- TAP モードで設定した BPM は、BEAT FX にのみ有効です。

5 SOUND COLOR FX (NOISE, PITCH, CRUSH, FILTER) ボタン

各 SOUND COLOR FX をオン / オフします。

6 COLOR ツマミ

各チャンネルの SOUND COLOR FX のパラメーターを変化させます。

ビートエフェクト機能を使う

本機は 4 種類のエフェクトボタンを備えています。エフェクトボタンを押すと音声にエフェクトをかけることができます。

[BEAT FX (TRANS, FLANGER, ECHO, ROLL)] ボタンのいずれかを押す

押したボタンが点滅します。

トラックのビートに連動してエフェクトがかかります。

ボタンによってエフェクトが異なります。各エフェクトについては、以下の表をご覧ください。

• 点滅しているボタンをふたたび押すと、エフェクトがオフになります。

エフェクト名	説明	LEVEL/DEPTH
TRANS	[BEAT] ツマミで設定した拍の倍率に合わせて音をカットします。	原音とエフェクト音のバランスを設定します。
FLANGER	[BEAT] ツマミで設定した拍の倍率に合わせて 1 周期のフランジャー効果を作り出します。	右に回すほど効果が強調されます。
ECHO	[BEAT] ツマミで設定した拍の倍率に合わせてディレイ音を減衰させながら数回出力します。1/1 ビートのエコー音では入力音を切ったあとも曲のテンポに合わせてディレイ音がフェードアウトします。	原音とエコー音のバランスを設定します。
ROLL	[ROLL] ボタンを押した時点の入力を記録し、記録した音を [BEAT] ツマミで設定した拍の倍率に合わせて繰り返し出力します。	原音とロール音のバランスを設定します。

❖ エフェクトを変化させる

[LEVEL/DEPTH] ツマミを回す

[LEVEL/DEPTH] ツマミを回す方向と位置によってエフェクトが変化します。

BPM を手動で入力する

1 [TAP (AUTO)] ボタンを押す

[TAP (AUTO)] ボタンが点灯し、TAP モードに切り換わります。

2 再生中の音声の拍 (4 分音符) に合わせて [TAP (AUTO)] ボタンを 2 回以上指で叩く

[TAP (AUTO)] ボタンを指で叩いた間隔の平均値が、オートループ / エフェクト表示部に表示されます。

• AUTO モードに戻すときは、[TAP (AUTO)] ボタンを 1 秒以上押し続けてください。

SOUND COLOR FX

各チャンネルの [COLOR] ツマミに連動して変化するエフェクトです。

1 [SOUND COLOR FX (NOISE, PITCH, CRUSH, FILTER)] ボタンのいずれかを押す

エフェクトの種類を選びます。

押したボタンが点滅します。

- エフェクトの種類については、「SOUND COLOR FX の種類」をご覧ください。
- [CH 1] と [CH 2] に同じエフェクトが設定されます。

2 [COLOR] ツマミを回す

ツマミを回したチャンネルの音声にエフェクトが加わります。

❖ SOUND COLOR FX の種類

エフェクト名	説明	[COLOR] ツマミ
PITCH	± 1 オクターブの範囲で音程を変化させます。	左回り：音程が低くなります。 右回り：音程が高くなります。
NOISE	本機内部で発生させたホワイトノイズをフィルターに通してからチャンネルの音声とミックスして出力します。 • 各チャンネルの [TRIM] ツマミを回して音量を調節できます。また、[EQ (HI, MID, LOW)] ツマミを回して音質を調整できます。	左回り：ホワイトノイズを通すフィルターのカットオフ周波数が徐々に下がります。 右回り：ホワイトノイズを通すフィルターのカットオフ周波数が徐々に上がります。
CRUSH	元の音声を壊したような音に変化させて出力します。	左回り：音声の歪みが増します。 右回り：音声を壊してからハイパスフィルターを通過させます。
FILTER	フィルターを通した音声を出力します。	左回り：ローパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に下がります。 右回り：ハイパスフィルターのカットオフ周波数が徐々に上がります。

操作する

電源の入れかた

- 1 各接続を行い、コンセントに電源コードを挿す
⇒「接続する」(p.9)
- 2 [STANDBY/ON] ボタンを押す
[STANDBY/ON] インジケーターが緑色に点灯します。

スタンバイ状態にするとき

本機の電源がオンのとき [STANDBY/ON] ボタンを1秒以上押す

スタンバイ状態になります。

[STANDBY/ON] インジケーターが赤色に点灯します。

- [STANDBY/ON] ボタンをふたたび押すと、電源がオンになります。
- 本機はオートスタンバイ機能を備えています。詳しくは、23ページの「オートスタンバイ機能について」をご覧ください。
- USB インジケーターが点灯中または点滅中に USB デバイスを取り外したり、本機の電源をオフしないでください。本機の管理データが消去されることがあります。また、USB デバイスが読み込めなくなることがあります。

ディスクの入れかたと出しかた

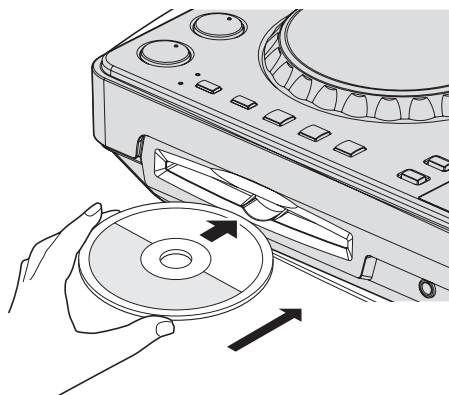
- 本機は1枚型のプレーヤーです。複数のディスクは挿入できません。
- 本機の電源がオフのとき、本機のディスク挿入口に無理にディスクを入れないでください。ディスクの破損および本機の故障の原因になります。

ディスクの入れかた

印刷面を上にして、ディスクを水平にディスク挿入口に入れる

メディアの読み込みが終了すると、再生を開始します。

- 音楽ファイルが階層構造で記録されているディスクをセットしたときは、一番上の階層に入っているトラックから再生します。

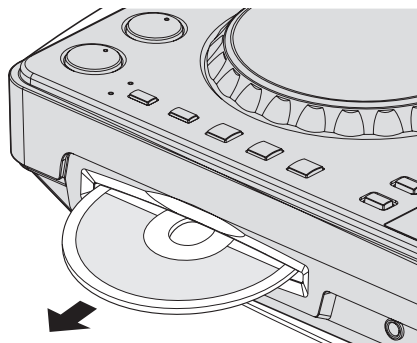


- オートキューをオンに設定しているときは、音声開始位置で一時停止状態になります。その場合、[PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押すと再生が始まります。オートキューについては、17ページの「オートキューを設定する」をご覧ください。

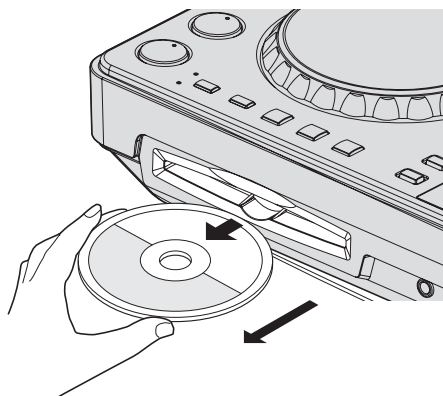
ディスクの出しかた

- 1 演奏中に [▶/II (PLAY/PAUSE)] ボタンを押す、またはキューポイントが設定されているときは、再生中に [CUE] ボタンを押して (バックキュー) から [DISC▲] ボタンを押して、ディスクを取り出す

ボタンを押すとディスクの回転が止まり、ディスク挿入口からディスクが出てきます。



- 2 ディスクの信号面に傷をつけないように引き抜く



- 誤って [DISC▲] ボタンが押された場合は、すぐに [PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押すと、排出を中止して直前の状態に復帰します (復帰処理中は、音声が出力されません)。

⚠ 注意

本機がディスクを引き込もうとしているとき、または排出しようとしているときに、その動きに逆らうような力をディスクに加えないでください。ディスクの破損および本機の故障の原因になります。

❖ レジューム機能について

一時停止中にディスクを抜いた場合は、また同じディスクを挿入すると抜いた時点の再生位置で一時停止します。これらは本機の電源がオフされるか、違うディスクがセットされるまで記憶されます。

- 記録メディア (USB) ではこの機能は使えません。

USB デバイスの接続のしかたと外しかた

USB デバイスの接続のしかた

USB デバイス挿入口に USB デバイスを接続する

USB デバイスの外しかた

1 USB インジケータが消灯するまで [USB STOP] ボタンを 2 秒以上押す

USB インジケータが点灯中または点滅中に USB デバイスを取り外したり、本機の電源をオフしないでください。本機の管理データが消去されることがあります。また、USB デバイスが読み込めなくなることがあります。

2 USB デバイスを引き抜く

再生する

ここでは基本的な選曲操作と画面の切り換えかたを説明します。

本機にセットされたメディアを再生する

1 メディアを本機にセットする

- ⇒ 「ディスクの入れかた」(p.20)
- ⇒ 「USB デバイスの接続のしかた」(p.21)

2 メディアボタン ([CD]、[USB] のいずれか) を押す

トラックやフォルダがリストになって表示されます。本体表示部に表示するメディアの中身を切り換えることができます。

[CD] ボタン：挿入されているディスクの中身を表示します。

[USB] ボタン：接続されている USB デバイスの中身を表示します。

- 他のメディアからトラックがロードされているときは警告画面が表示されます。内容を確認してからロータリーセクターを押すと、警告画面が消えメディアが切り換わります。
- 記録メディア (USB) 内に rekordbox のライブラリ情報が書き込まれていた場合は、rekordbox のライブラリを表示します。
- remotebox とリンクが確立しているときは、USB デバイスの中身は本機には表示されず、モバイルデバイスに表示されます。

3 ロータリーセクターを回す

カーソルを動かして項目を選択します。

- フォルダの下位階層に進むときはロータリーセクターを押します。上位階層に戻るときは [BACK] ボタンを押します。
- [BACK] ボタンを 1 秒以上押す、またはブラウズしているメディアのメディアボタンを押すと、一番上の階層に移動します。

4 トラックを選んでロータリーセクターを押す

トラックをロードすると、画面はインフォメーション表示モードに切り換わります。

トラックがロードされて再生が始まり、対応したメディアボタンが点滅します。

- 一時停止してからトラックをロードした場合、[PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押すと再生が始まります。
- オートキューをオンに設定しているときは、音声開始位置で一時停止状態になります。その場合、[PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押すと再生が始まります。
- オートキューについては、17 ページの「オートキューを設定する」をご覧ください。

❖ rekordbox のライブラリが書き込まれていた場合

本機に挿入されている USB デバイス内に rekordbox のライブラリ情報が書き込まれていたときは、rekordbox のライブラリを表示します。

- 音楽ファイルを rekordbox で設定したカテゴリ（アルバム、アーティストなど）で表示します。

remotebox を使う

本機にセットされた USB デバイス内のトラックを、モバイルデバイスから無線 LAN 経由でブラウズしてロードできます。

1 モバイルデバイスを無線 LAN で本機と接続する

2 モバイルデバイス上で remotebox を起動しリンクを確立する

3 本機の USB デバイス挿入口に USB デバイスをセットする

4 モバイルデバイス上で remotebox を操作してトラックを選ぶ

5 モバイルデバイス上で remotebox を操作して、トラックをロードさせる本機のデッキを選んでタップする

トラックのロードを開始します。トラックをロードしているデッキのジョグダイヤルインジケータが点滅します。

再生可能な状態になるとジョグダイヤルインジケータが点滅から点灯に変わり、本体表示部にトラック名が表示され再生が始まります。

- remotebox 取扱説明書もあわせてご覧ください。

音声を出力する

音声を出力する前に、本機と周辺機器が正しく接続されているか確認してください。接続の仕方については、9 ページの「入力 / 出力端子に接続する」または 10 ページの「無線 LAN で接続する」をご覧ください。[MASTER OUT 1] 端子および [MASTER OUT 2] 端子に接続しているパワーアンプやパワードスピーカーなどのボリュームを適切に設定してください。ボリュームを上げすぎると大音量で音声出力されますのでご注意ください。

[CH 1] (チャンネル 1) の音声を出力するとき

[CH 2] (チャンネル 2) の音声を出力するときは、以下の手順の [CH 1] を [CH 2]、[DECK 1] を [DECK 2]、[PHONO1/LINE1] を [PHONO2/LINE2] に置き換えてお読みください。

1 [CH 1] の [DECK 1, PHONO1/LINE1] 切換スイッチを切り換える

本機に接続している機器の中から、[CH 1] の入力ソースを選びます。

- [DECK 1]：USB デバイス、CD または MIDI を選びます。
- [PHONO1/LINE1]：[PHONO1/LINE1] 端子に接続している機器を選びます。

2 [CH 1] の [TRIM] ツマミを右に回す

[CH 1] に入力される音声レベルを調整します。

[CH 1] に音声が入力されているときは、[LEVEL] インジケータが点灯します。

トラックの音量が一番大きくなる箇所（サビ部分など）で、オレンジ色のインジケータが点灯するように [TRIM] ツマミを調整します。音が歪む原因となりますので赤色のインジケータが点灯しないようお気をつけください。

3 [CH 1] のチャンネルフェーダーを奥側に動かす

[CH 1] から出力される音声レベルを調整します。

4 [CROSS F. CURVE THRU, ㄆ, ㄆ] (クロスフェーダーカーブ切換スイッチ) を切り換える

クロスフェーダーのカーブ特性を切り換えます。

- [THRU]：クロスフェーダーを使わないときに選びます。
- [ㄆ]：徐々に立ち上がるカーブになります。
- [ㄆ]：急峻に立ち上がるカーブになります（クロスフェーダーが左右どちらかの端から離れると、すぐに逆側の音声出力されます）。

5 クロスフェーダーを動かす

スピーカーから音声を出力するチャンネルを切り換えます。

- 左端：[CH 1] の音声を出力します。
- センター位置：[CH 1] と [CH 2] の音声をミックスして出力します。
- 右端：[CH 2] の音声を出力します。

- [CROSS F. CURVE (THRU, 六, 六)] 切換スイッチを [THRU] に設定しているときは、この操作は必要ありません。

6 [MASTER LEVEL] ツマミを右に回す

スピーカーから音声が出力されます。

[LEVEL] インジケーターが点灯します。

トラックの音量が一番大きくなる箇所（サビ部分など）で、オレンジ色のインジケーターが点灯するように [MASTER LEVEL] ツマミを調整します。

音が歪む原因となりますので赤色のインジケーターが点灯しないようお気をつけください。

フェーダーを使ってミックスする

あらかじめ [CH 1] の音声スピーカーから出力されている状態になるよう準備してください。準備の仕方については、21ページの「音声を出力する」をご覧ください。

音声のモニターの仕方については、18ページの「ヘッドホンで音声をモニターする」をご覧ください。

チャンネルフェーダーを使ってミックスするとき

1 [CROSS F. CURVE THRU, 六, 六] (クロスフェーダーカーブ切換スイッチ) を [THRU] に設定する

2 [CH 2] の [DECK 2, PHONO2/LINE2] 切換スイッチを切り換える

3 [CH 2] の [TRIM] ツマミを右に回す

4 [🔊 (CH2)] ボタンを押す

ヘッドホンで [CH 2] の音声をモニターします。

5 [HEADPHONES MIXING] ツマミを回す

[MASTER OUT 1] 端子および [MASTER OUT 2] 端子から出力されている音声 ([CH 1] の音声) と [CH 2] の音声のモニター音量バランスを調整します。

6 [DECK 2] を操作する

ヘッドホンで音声を確認しながら [CH 1] のトラックのテンポに [CH 2] のトラックのテンポを合わせます。

7 [CH 2] のチャンネルフェーダーを奥側に動かしながら、[CH 1] のチャンネルフェーダーを手前側に動かす

スピーカーから出力されている音声を確認しながらチャンネルフェーダーを操作して [CH 1] の音声と [CH 2] の音声を入れ替えます。スピーカーから [CH 2] の音声だけが出力されている状態になったらミックス完了です。

クロスフェーダーを使ってミックスするとき

1 [CROSS F. CURVE THRU, 六, 六] (クロスフェーダーカーブ切換スイッチ) を [六] または [六] に設定する

2 [CH 2] を操作する

上記の「チャンネルフェーダーを使ってミックスするとき」の手順 2～手順 6 に沿って操作します。

3 クロスフェーダーを少しずつ右側に動かす

スピーカーから出力されている音声を確認しながらクロスフェーダーを操作して [CH 1] の音声と [CH 2] の音声を入れ替えます。スピーカーから [CH 2] の音声だけが出力されている状態になったらミックス完了です。

QUANTIZE 機能を使う

rekordbox で解析された楽曲の GRID 情報をもとに、再生中のトラックのテンポとずれることなくオートビートループ再生したりビートエフェクトをかけたりすることができます。

- QUANTIZE 機能を使うためには、事前に rekordbox で音楽ファイルを解析する必要があります。rekordbox で音楽ファイルを解析する方法については、rekordbox の操作説明書をご覧ください。

[SHIFT] ボタンを押しながら [TIME (AUTO CUE, QUANTIZE)] ボタンを押す

QUANTIZE 機能をオンにします。

QUANTIZE 機能をオンに設定すると、オートビートループ、ビートエフェクト、キューおよびホットキューを設定するときに、最も近い拍位置にポイントを自動で合わせます。

また、オートビートループ、ビートエフェクトおよびホットキューなどが、ビートを崩さずに使えます。

- ふたたび [SHIFT] ボタンを押しながら [TIME (AUTO CUE, QUANTIZE)] ボタンを押すと、QUANTIZE 機能がオフになります。

SYNC 機能を使う

rekordbox で解析された楽曲の GRID 情報をもとに、左右のデッキのテンポ (BPM) と拍位置を自動的に同期させることができます。

- SYNC 機能を使うためには、事前に rekordbox で音楽ファイルを解析する必要があります。rekordbox で音楽ファイルを解析する方法については、rekordbox の操作説明書をご覧ください。
- 以下では、[DECK 1] のトラックに [DECK 2] のトラックを同期させる手順について説明しています。

1 rekordbox で解析済みのトラックを [DECK 1] で再生する

rekordbox で解析済みのトラックを先に再生した側のデッキが SYNC 機能の MASTER になります。

- MASTER は [MASTER] ボタンを押すことによっても指定することができます。

2 rekordbox で解析済みのトラックを [DECK 2] で再生する

3 [DECK 2] の [SYNC] ボタンを押す

[DECK 1] で再生されているトラックのテンポ (BPM) と拍位置に [DECK 2] が同期します。

- ふたたび [SYNC] ボタンを押すと、SYNC 機能がオフになります。
- SYNC 機能をオフにしたあと、再生中のトラックのテンポ (BPM) をもとに戻すときは以下の操作を行ってください。
 - 同期させたテンポ (BPM) の位置まで [TEMPO] スライダーをいったん動かし ([TEMPO] インジケーターが消灯)、センター位置に戻す。
 - 同じトラックを再ロードする。
- 楽曲の拍情報によっては、[SYNC] ボタンを押したあと、SYNC 状態にずれが生じてくることがあります。そのときは [SYNC] ボタンをオフ / オンにすると、再び SYNC させることができます。

設定を変更する

- 1 [INFO(UTILITY)] ボタンを 1 秒以上押す
[UTILITY] 画面が表示されます。
- 2 ロータリーセレクターを使って設定を変更する
 - [BACK(TOP)] ボタンを押すと前の画面に戻ります。
- 3 ロータリーセレクターを押す
設定の変更内容が保存されます。
 - [UTILITY] 画面を閉じるときは [INFO(UTILITY)] ボタンを押します。

オートスタンバイ機能について

- オートスタンバイ機能をオンに設定しているとき、以下の条件をすべて満たしたまま設定時間を過ぎると自動的にスタンバイ状態になります。
- 本機のボタンやツマミなどを操作していない。
 - 本機のチャンネルレベルインジケーターが点灯していない。
 - 再生機能が動作していない。
 - 本機背面の USB 端子 (Type B 端子) にコンピュータが接続されていない。
 - 本機に remotebox が接続されていない。
 - デモモードがオフになっている。

設定項目一覧

設定項目	選択項目	説明
WLAN INFO	—	詳しくは、下記の「WLAN INFORMATION の項目一覧」をご覧ください。
WLAN SETTING	—	詳しくは、24ページ の「WLAN SETTING の項目一覧」をご覧ください。
MIXER MODE	XDJ-R1*/PC	詳しくは、26ページ の「[MIXER MODE] を変更する」をご覧ください。
A. CUE LEVEL	-36 dB/-42 dB/-48 dB/-54 dB/-60 dB*/-66 dB/-72 dB/-78 dB	オートキューレベルを設定します。設定方法については、17ページの「オートキューレベルを変更する」をご覧ください。
SAMPLE LEVEL	1 ~ 50* ~ 100	サンプル音源の音量を調整できます。
CROSS FADER START	ON/OFF*	クロスフェーダー位置を動かすことにより、キューポイントから再生が開始されます。
TOUCH SENSE LEVEL(DECK1)	-4 ~ 0* ~ +4	[DECK 1] のジョグダイヤルの感度を調整します。
TOUCH SENSE LEVEL(DECK2)	-4 ~ 0* ~ +4	[DECK 2] のジョグダイヤルの感度を調整します。
BACK UP	SAVE/LOAD	本機内に記録されているディスクのホットキュー情報を取り出せます。
AUTO STANDBY	OFF/20 min*/40 min/60 min	スタンバイ状態になるまでの時間を設定します。詳しくは、上記の「オートスタンバイ機能について」をご覧ください。
DEMO MODE	ON/OFF*	デモモードのオン / オフを設定します。
VERSION No.	—	本機のソフトウェアバージョンが表示されます。

*：お買い上げ時の設定

WLAN INFORMATION の項目一覧

[WLAN SETTING] の [MODE] が [OFF] に設定されているときは、[MODE] と [MAC ADDRESS] だけ表示されます。

項目	
MODE	本機の無線 LAN 機能の動作モードが表示されます。
SSID	本機の [SSID] が表示されます。
SECURITY	設定されているセキュリティ (暗号化) 種類が表示されます。
PASSWORD	現在設定されているパスワードが表示されます。
IP ADDRESS	192.168.2.3 が表示されます。
SUBNET MASK	255.255.255.0 が表示されます。
CONNECTED CLIENTS	WLAN 接続された子機の MAC アドレスが表示されます。
MAC ADDRESS	本機の MAC アドレスを表示します。

WLAN SETTING の項目一覧

[WLAN SETTING] の [MODE] が [OFF] に設定されているときは、[MODE] と [RESET TO DEFAULT] だけ表示されます。

設定項目 1	設定項目 2	設定範囲	説明
MODE	—	ENABLE*/DISABLE	本機の動作モードを設定します。
NETWORK SETTING	SSID	A～Z、a～z、0～9、記号（最大 32 文字まで）	本機の [SSID] を設定します。
	SECURITY	OPEN / WEP64 / WEP128*	本機のセキュリティ（暗号化）方式を設定します。
	PASSWORD	A～Z、a～z、0～9、記号（[WEP64] では 5 文字、[WEP128] では 13 文字）	本機のパスワードを設定します。
OTHERS	CHANNEL NO.	CH1～11、AUTO*	本機は 2.4 GHz 帯を使用しています。周囲に同帯域での無線 LAN ネットワークがあり、電波が干渉して接続や通信が不安定な場合はチャンネルを手動で切り換えてみてください。（初期設定は [AUTO] になっており、自動的に比較的空いているチャンネルを選択するようになっています。）
	DHCP SERVER	ENABLE*/DISABLE	本機の DHCP サーバー機能を利用するかしないかを設定します。 [ENABLE]：DHCP サーバー機能を使います。 [DISABLE]：DHCP サーバー機能を使いません。
RESET TO DEFAULT	—	YES/NO	[WLAN SETTING] 内の設定項目を工場出荷時に戻します。

*：お買い上げ時の設定

DJ ソフトウェアを使う

ドライバソフトウェアについて (Windows)

本ドライバソフトウェアは、コンピュータからの音声を出力するための専用 ASIO ドライバです。

- Mac OS X をお使いのときは、ドライバソフトウェアをインストールする必要はありません。

動作環境

対応 OS	
Windows® 8/Windows® 8 Pro	32 ビット版 ○
	64 ビット版 ○ ¹⁾
Windows® 7 Home Premium/Professional/Ultimate	32 ビット版 ○
	64 ビット版 ○ ¹⁾
Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate	32 ビット版 ○
	64 ビット版 ○ ¹⁾
Windows® XP Home Edition/Professional (SP2 以降)	32 ビット版 ○

¹⁾ 64 ビット版 Windows をお使いのときは、ドライバソフトウェアは 32 ビットアプリケーションだけにお使いいただけます。

ドライバソフトウェアをインストールする前に

- はじめに 6 ページの「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
- 本機の電源スイッチを切り、本機とコンピュータを接続している USB ケーブルを取り外してください。
- コンピュータ上で他に作業中のプログラムがあればすべて終了させてください。
- ドライバソフトウェアをインストール、アンインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログオンしてからインストールしてください。
- ドライバソフトウェアをコンピュータにインストールしないで本機をコンピュータに接続すると、お客様の環境によってはコンピュータにエラーが発生することがあります。
- ドライバソフトウェアのインストールを途中で中止したときは、はじめからインストールをやり直してください。

ドライバソフトウェアをインストールする

- 1 コンピュータの電源をオンにする
- 2 付属の CD-ROM をコンピュータの CD ドライブに挿入する
- 3 CD-ROM のメニューが表示されたら、[ドライバソフトウェア (Pioneer_XDJ_R1_Driver_X.XXX) をインストールする] を選んで [開始] をクリックする
- 4 画面の指示に従ってインストールする
インストールの途中で [Windows セキュリティ] 画面が表示されることがありますが、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてインストールを続行してください。
 - Windows XP にインストールしているとき
インストールの途中で [ハードウェアのインストール] 画面が表示されることがありますが、[続行] をクリックしてインストールを続行してください。
 - インストールプログラムが終了すると終了メッセージが表示されます。

本機とコンピュータを接続する

1 本機とコンピュータを USB ケーブルで接続する

接続の仕方については、9 ページの「入力 / 出力端子に接続する」をご覧ください。

2 [STANDBY/ON] ボタンを押す

本機の電源をオンにします。

- 本機をはじめてコンピュータに接続したとき、またはコンピュータの USB 端子をつなぎ変えたときに [デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。] メッセージが表示されることがあります。[デバイスを使用する準備ができました。] メッセージが表示されるまでそのままお待ちください。

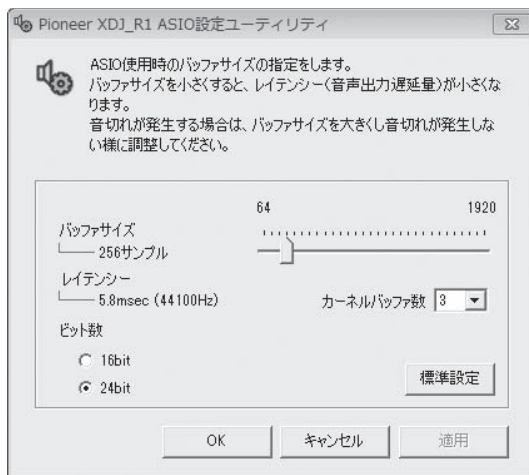
バッファサイズを調整する

本機は ASIO 規格に準拠したオーディオデバイスとしての機能を備えています。

- 本機を既定のオーディオデバイスとして使っているアプリケーション (DJ ソフトウェアなど) が起動しているときは、そのアプリケーションを終了させてからバッファサイズを調整してください。

Windows の [スタート] メニュー > [すべてのプログラム] > [Pioneer] > [XDJ_R1] > [XDJ_R1 ASIO 設定ユーティリティ] をクリックする

- Windows 8 の場合、[スタート] 画面から [XDJ_R1 ASIO 設定ユーティリティ] をクリックしてください。



- バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落 (音とぎれ) などが生じにくくなりますが、音声データの伝送遅延 (レイテンシー) によるタイムラグが増大します。
- カーネルバッファ数を大きくすると、音とぎれが生じにくくなりますが、レイテンシーによるタイムラグが増大します。
- バッファサイズおよびカーネルバッファの調整は、以下の手順を参考に操作してください。

初期設定状態で音とぎれが発生していないとき

- ① バッファサイズを徐々に小さくして、音とぎれが発生しない最小のバッファサイズに設定する
- ② カーネルバッファ数を [2] に設定して、音とぎれが発生するか確認する
 - 音とぎれが発生するときはカーネルバッファ数を [3] に設定してください。

初期設定状態で音とぎれが発生しているとき

- ① カーネルバッファ数を [4] に設定にしたあと、音とぎれが発生しない最小のバッファサイズに設定する

ドライバソフトウェアのバージョンを確認する

Windows の [スタート] メニュー > [すべてのプログラム] > [Pioneer] > [XDJ_R1] > [XDJ_R1 バージョン表示ユーティリティ] をクリックする

- Windows 8 の場合、[スタート] 画面から [XDJ_R1 バージョン表示ユーティリティ] をクリックしてください。



- この画面では本機のファームウェアのバージョンも確認できます。
- 本機がコンピュータに接続されていないとき、または本機とコンピュータが正常に通信できていないときは、ファームウェアのバージョンは表示されません。

ドライバソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバソフトウェアの最新情報については、以下のホームページを参照してください。

<http://pioneerdj.com/support/>

DJ ソフトウェアを使う

本機は、VIRTUAL DJ LE の操作およびボタンやつまみなどの操作情報を汎用の MIDI 形式でも出力します。MIDI 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたコンピュータと USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。また、コンピュータで再生している音楽ファイルの音声を本機から出力できます。

本機をオーディオデバイスとして使うときはあらかじめコンピュータにドライバソフトウェアをインストールしてください(25ページ)。また、DJ ソフトウェアのオーディオ出力デバイスの設定で本機を選んでおく必要があります。詳しくは、お使いの DJ ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

1 本機の USB 端子とコンピュータを接続する

接続の仕方については、9ページの「入力/出力端子に接続する」をご覧ください。

2 [MIDI] ボタンを押す

本体表示部に [MIDI CONTROL] が表示されます。

- 他のメディアからトラックがロードされているときは警告画面が表示されます。内容を確認してからロータリーセレクターを押すと、警告画面が消えメディアが切り換わります。

3 DJ ソフトウェアを起動する

DJ ソフトウェアと通信が始まります。

本機のボタンやつまみなどを使って DJ ソフトウェアを操作できます。

- ボタンによっては DJ ソフトウェアの操作に使えないことがあります。
- 本機が出力するメッセージについては、27ページの「MIDI メッセージ一覧」をご覧ください。

[MIXER MODE] を変更する

DJ ソフトウェアのミックスモードには、外部ミキサーを使ってミックスするモードと DJ ソフトウェア内部でミックスするモードの2つのミックスモードがあります。本機は、[UTILITY] 画面で [MIXER MODE] を変更することにより、どちらのミックスモードでもお使いいただけます。

1 [INFO(UTILITY)] ボタンを 1 秒以上押す

[UTILITY] 画面が表示されます。

2 ロータリーセレクターを回して [MIXER MODE] を選んで、ロータリーセレクターを押す

3 ロータリーセレクターを回して、設定したいモードを選んで、ロータリーセレクターを押す

- [XDJ-R1]: 本機のミキサーセクションを使って音声をミックスします。本機のプレーヤー部を使って DJ ソフトウェアを操作できます。
- [PC]: DJ ソフトウェア内部で音声をミックスします。DJ ソフトウェアの音声出力設定は、以下のように設定してください。

PIONEER XDJ-R1MASTER/CH1 L

PIONEER XDJ-R1MASTER/CH1 R

PIONEER XDJ-R1PHONES/CH2 L

PIONEER XDJ-R1PHONES/CH2 R

- [UTILITY] 画面を閉じるときは [INFO(UTILITY)] ボタンを押します。

VIRTUAL DJ LE を使う

VIRTUAL DJ LE ソフトウェアについて

VIRTUAL DJ LE は Atomix productions 社製の DJ ソフトウェアです。このソフトをインストールしたコンピュータと本機を接続して DJ プレイを楽しむことができます。

VIRTUAL DJ LE ソフトウェアをインストールする

VIRTUAL DJ LE ソフトウェアを入手するには、Atomix productions 社のウェブサイトよりダウンロードする必要があります。

また、VIRTUAL DJ LE の起動方法や機能対応表につきましては、下記サポートページを参照してください。

<http://pioneerdj.com/support/>

最新の動作環境、互換性、および最新の OS システムを取得するには、

以下の Atomix productions 社のウェブサイト参照してください。

<http://www.virtualdj.com/>

インターネット接続を伴う場合の注意

- インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要になります。

MIDI メッセージ一覧

MIDI メッセージの 3 バイトのうち、1 バイト目と 3 バイト目は 16 進数で、2 バイト目は 10 進数で表記しています。

	MIDI チャンネル	MIDI ch. Value
A デッキ	1	n=0
B デッキ	2	n=1
C デッキ	3	n=2
D デッキ	4	n=3
エフェクト A/C	5	n=4
エフェクト B/D	6	n=5
ミキサー	7	n=6

1 プレイヤー

SW 名	MIDI メッセージ (本機 → コンピュータ)						備考 (dd の数値)		
	SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時					
ロータリーセレクトター (SELECT PUSH) (回す)	Bn	64	dd	Bn	65	dd	前回操作からの差分カウント値 <ul style="list-style-type: none"> 右回転: 1 ~ (最大) 30 左回転: 127 ~ (最小) 98 		
ロータリーセレクトター (SELECT PUSH) (押す)	9n	66	dd	9n	67	dd	OFF=0, ON=127		
BACK ボタン	9n	68	dd	9n	69	dd	OFF=0, ON=127		
TIME (AUTO CUE, QUANTIZE) ボタン	9n	62	dd	9n	63	dd	OFF=0, ON=127		
PLAY/PAUSE ボタン	9n	11	dd	9n	71	dd	OFF=0, ON=127		
CUE ボタン	9n	12	dd	9n	72	dd	OFF=0, ON=127		
TRACK SEARCH▶▶ ボタン	9n	9	dd	9n	74	dd	OFF=0, ON=127		
TRACK SEARCH◀◀ ボタン	9n	10	dd	9n	75	dd	OFF=0, ON=127		
AUTO BEAT LOOP ツマミ (回す)	remotebox から	XDJ-R1	Bn	19	dd	Bn	79	dd	前回操作からの差分カウント値 <ul style="list-style-type: none"> 右回転: 1 ~ (最大) 30 左回転: 127 ~ (最小) 98
		32 ビート	9n	110	dd	-	-	-	OFF=0, ON=127
		16 ビート	9n	111	dd				
		8 ビート	9n	112	dd				
		4 ビート	9n	113	dd				
		2 ビート	9n	114	dd				
		1 ビート	9n	115	dd				
		1/2 ビート	9n	116	dd				
		1/4 ビート	9n	117	dd				
		1/8 ビート	9n	118	dd				
1/16 ビート	9n	119	dd						
1/32 ビート	9n	120	dd						
AUTO BEAT LOOP ツマミ (押す)	9n	20	dd	9n	80	dd	OFF=0, ON=127		
MODE (HOT CUE/4-BEAT SAMPLER) ボタン	9n	59	dd	9n	60	dd	OFF=0, ON=127		
CALL ボタン	9n	25	dd	9n	85	dd	OFF=0, ON=127		
HOT CUE/DELETE A ボタン	9n	46	dd	9n	95	dd	OFF=0, ON=127		
HOT CUE/DELETE B ボタン	9n	47	dd	9n	96	dd	OFF=0, ON=127		
HOT CUE/DELETE C ボタン	9n	48	dd	9n	97	dd	OFF=0, ON=127		
4-BEAT SAMPLER A ボタン	9n	50	dd	9n	99	dd	OFF=0, ON=127		
4-BEAT SAMPLER B ボタン	9n	51	dd	9n	100	dd	OFF=0, ON=127		
4-BEAT SAMPLER C ボタン	9n	52	dd	9n	101	dd	OFF=0, ON=127		
VINYL MODE ボタン	9n	21	dd	9n	22	dd	OFF=0, ON=127		
MASTER TEMPO ボタン	9n	26	dd	9n	86	dd	OFF=0, ON=127		
TEMPO RANGE ボタン	6 %	9n	14	dd	9n	87	dd	OFF=0, ON=127	
	10 %	9n	15	dd					
	16 %	9n	16	dd					
	WIDE	9n	17	dd					
TEMPO スライダー	Bn	0	MSB	Bn	5	MSB	0 ~ 16383 -側で 0, +側で 16383		
	Bn	32	LSB	Bn	37	LSB			
SYNC ボタン	9n	88	dd	9n	92	dd	OFF=0, ON=127		

SW 名	MIDI メッセージ (本機 → コンピュータ)						備考 (dd の数値)
	SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
MASTER ボタン	9n	89	dd	9n	93	dd	OFF=0, ON=127
ジョグダイヤル (外周部を回す)	Bn	1	dd	Bn	6	dd	前回操作からの差分カウント • 右回転は 64 から増加し、左回転は 64 から減少します。 ジョグダイヤルを 1 回転させたときの差分カウント累積は 600 です。
ジョグダイヤル (天面部を回す)	Bn	2	dd	Bn	7	dd	前回操作からの差分カウント • 右回転は 64 から増加し、左回転は 64 から減少します。 ジョグダイヤルを 1 回転させたときの差分カウント累積は 600 です。
ジョグダイヤル (天面部を押す)	9n	54	dd	9n	103	dd	OFF=0, ON=127

SW およびインジケータ名		MIDI メッセージ (コンピュータ → 本機)						備考 (dd の数値)
		SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
デッキ切り換え	C→A デッキ	90	62	dd	-	-	-	[DECK 1]の情報表示部に [DeckA]と表示: 127
	D→B デッキ	91	62	dd	-	-	-	[DECK 2]の情報表示部に [DeckB]と表示: 127
	A→C デッキ	92	62	dd	-	-	-	[DECK 1]の情報表示部に [DeckC]と表示: 127
	B→D デッキ	93	62	dd	-	-	-	[DECK 2]の情報表示部に [DeckD]と表示: 127
PLAY/PAUSE ボタン		9n	11	dd	9n	71	dd	消灯=0, 点灯=127
CUE ボタン		9n	12	dd	9n	72	dd	消灯=0, 点灯=127
TRACK SEARCH▶▶▶ ボタン		9n	9	dd	9n	74	dd	OFF=0, ON=127
TRACK SEARCH◀◀◀ ボタン		9n	10	dd	9n	75	dd	OFF=0, ON=127
VINYL MODE ボタン		9n	21	dd	9n	22	dd	消灯=0, 点灯=127
AUTO BEAT LOOP ツマミ (回す)	32 ビート	9n	110	dd	9n	79	dd	OFF=0, ON=127
	16 ビート	9n	111	dd				
	8 ビート	9n	112	dd				
	4 ビート	9n	113	dd				
	2 ビート	9n	114	dd				
	1 ビート	9n	115	dd				
	1/2 ビート	9n	116	dd				
	1/4 ビート	9n	117	dd				
	1/8 ビート	9n	118	dd				
	1/16 ビート	9n	119	dd				
1/32 ビート	9n	120	dd					
AUTO BEAT LOOP インジケータ		9n	20	dd	9n	80	dd	消灯=0, 点灯=127
HOT CUE/4-BEAT SAMPLER インジケータ		9n	59	dd	9n	60	dd	HOT CUE インジケータ: 消灯かつ 4-BEAT SAMPLER インジケータ: 点灯=0 HOT CUE インジケータ: 点灯かつ 4-BEAT SAMPLER インジケータ: 消灯=127
MASTER TEMPO ボタン		9n	26	dd	9n	86	dd	消灯=0, 点灯=127
TEMPO▲ インジケータ		9n	28	dd	-	-	-	消灯=0, 点灯=127
TEMPO▼ インジケータ		9n	29	dd	-	-	-	消灯=0, 点灯=127
TEMPO RANGE ボタン	6 %	9n	14	dd	9n	87	dd	OFF=0, ON=127
	10 %	9n	15	dd				
	16 %	9n	16	dd				
	WIDE	9n	17	dd				
TEMPO スライダー		Bn	0	dd	Bn	5	dd	0 ~ 127 -側で 0, +側で 127
MASTER ボタン		9n	89	dd	9n	93	dd	消灯=0, 点灯=127
SYNC ボタン		9n	88	dd	9n	92	dd	消灯=0, 点灯=127
CALL ボタン		9n	25	dd	9n	85	dd	消灯=0, 点灯=127
HOT CUE/DELETE A ボタン		9n	46	dd	9n	95	dd	消灯=0, 点灯=127
HOT CUE/DELETE B ボタン		9n	47	dd	9n	96	dd	消灯=0, 点灯=127
HOT CUE/DELETE C ボタン		9n	48	dd	9n	97	dd	消灯=0, 点灯=127
4-BEAT SAMPLER A ボタン		9n	50	dd	9n	99	dd	消灯=0, 点灯=127
4-BEAT SAMPLER B ボタン		9n	51	dd	9n	100	dd	消灯=0, 点灯=127
4-BEAT SAMPLER C ボタン		9n	52	dd	9n	101	dd	消灯=0, 点灯=127
ジョグイリミネーション (4 点灯)		9n	55	dd	9n	56	dd	消灯=0, 点灯=127

2 ミキサー

SW 名		MIDI メッセージ (本機 → コンピュータ)						備考 (dd の数値)
		SHIFT ボタン OFF 時		SHIFT ボタン ON 時				
MASTER LEVEL ツマミ		B6 B6	0 32	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
MIC LEVEL ツマミ		B6 B6	20 52	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
MIC EQ ツマミ		B6 B6	22 54	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
AUX LEVEL ツマミ		B6 B6	24 56	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
BOOTH MONITOR ツマミ		B6 B6	26 58	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
TRIM ツマミ	A デッキ	B6 B6	3 35	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
	B デッキ	B6 B6	4 36	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
	C デッキ	B6 B6	5 37	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
	D デッキ	B6 B6	6 38	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
HEAD PHONES MIXING ツマミ		B6 B6	1 33	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
HEAD PHONES LEVEL ツマミ		B6 B6	2 34	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
EQ [HI] ツマミ	A デッキ	B6 B6	7 39	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
	B デッキ	B6 B6	8 40	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
	C デッキ	B6 B6	9 41	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
	D デッキ	B6 B6	10 42	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
EQ [MID] ツマミ	A デッキ	B6 B6	11 43	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
	B デッキ	B6 B6	12 44	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
	C デッキ	B6 B6	13 45	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
	D デッキ	B6 B6	14 46	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
EQ [LOW] ツマミ	A デッキ	B6 B6	15 47	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
	B デッキ	B6 B6	16 48	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
	C デッキ	B6 B6	17 49	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
	D デッキ	B6 B6	18 50	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
COLOR ツマミ	A デッキ	B6 B6	27 59	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
	B デッキ	B6 B6	28 60	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
	C デッキ	B6 B6	29 61	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
	D デッキ	B6 B6	30 62	MSB LSB	— —	— —	— —	0 ~ 16383 左回しきり:0 / 右回しきり:16383
HEADPHONES CUE ボタン	A デッキ	96	84	dd	96	96	dd	OFF=0, ON=127
	B デッキ	96	85	dd	96	97	dd	OFF=0, ON=127
	C デッキ	96	86	dd	96	98	dd	OFF=0, ON=127
	D デッキ	96	87	dd	96	99	dd	OFF=0, ON=127

SW 名		MIDI メッセージ (本機 → コンピュータ)						備考 (dd の数値)
		SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
チャンネルフェーダー	A デッキ	B6 B6	19 51	MSB LSB	-	-	-	0 ~ 16383 下端 : 0 / 上端 : 16383
	B デッキ	B6 B6	21 53	MSB LSB	-	-	-	0 ~ 16383 下端 : 0 / 上端 : 16383
	C デッキ	B6 B6	23 55	MSB LSB	-	-	-	0 ~ 16383 下端 : 0 / 上端 : 16383
	D デッキ	B6 B6	25 57	MSB LSB	-	-	-	0 ~ 16383 下端 : 0 / 上端 : 16383
クロスフェーダー		B6 B6	31 63	MSB LSB	-	-	-	0 ~ 16383 左端 : 0 / 右端 : 16383
クロスフェーダーカーブ 切換スイッチ	THRU	96	65	dd	-	-	-	OFF=0, ON=127
	↗	96	66	dd	-	-	-	OFF=0, ON=127
	↘	96	67	dd	-	-	-	OFF=0, ON=127
MIC (ON/OFF) ボタン		96	70	dd	96	102	dd	OFF=0, ON=127
AUX (ON/OFF) ボタン		96	75	dd	96	103	dd	OFF=0, ON=127
DECK、PHONO/LINE 切換スイッチ	DECK 1	96	79	dd	-	-	-	OFF=0, ON=127
	PHONO1/LINE1	96	80	dd	-	-	-	OFF=0, ON=127
	DECK 2	96	81	dd	-	-	-	OFF=0, ON=127
	PHONO2/LINE2	96	82	dd	-	-	-	OFF=0, ON=127

SW およびインジケーター名		MIDI メッセージ (コンピュータ → 本機)						備考 (dd の数値)
		SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
MASTER LEVEL ツマミ		B6	0	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
AUX LEVEL ツマミ		B6	24	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
BOOTH MONITOR ツマミ		B6	26	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
MIC LEVEL ツマミ		B6	20	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
MIC EQ ツマミ		B6	22	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
TRIM ツマミ	A デッキ	B6	3	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
	B デッキ	B6	4	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
	C デッキ	B6	5	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
	D デッキ	B6	6	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
EQ [HI] ツマミ	A デッキ	B6	7	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
	B デッキ	B6	8	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
	C デッキ	B6	9	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
	D デッキ	B6	10	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
EQ [MID] ツマミ	A デッキ	B6	11	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
	B デッキ	B6	12	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
	C デッキ	B6	13	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
	D デッキ	B6	14	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
EQ [LOW] ツマミ	A デッキ	B6	15	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
	B デッキ	B6	16	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
	C デッキ	B6	17	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
	D デッキ	B6	18	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127

SW およびインジケーター名		MIDI メッセージ (コンピュータ → 本機)						備考 (dd の数値)
		SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
COLOR ツマミ	A デッキ	B6	27	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり: 0 / 右回しきり: 127
	B デッキ	B6	28	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり: 0 / 右回しきり: 127
	C デッキ	B6	29	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり: 0 / 右回しきり: 127
	D デッキ	B6	30	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり: 0 / 右回しきり: 127
HEADPHONES CUE ボタン	A デッキ	96	84	dd	96	96	dd	消灯=0, 点灯=127
	B デッキ	96	85	dd	96	97	dd	消灯=0, 点灯=127
	C デッキ	96	86	dd	96	98	dd	消灯=0, 点灯=127
	D デッキ	96	87	dd	96	99	dd	消灯=0, 点灯=127
HEAD PHONES MIXING ツマミ		B6	1	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり: 0 / 右回しきり: 127
HEAD PHONES LEVEL ツマミ		B6	2	dd	-	-	-	0 ~ 127 左回しきり: 0 / 右回しきり: 127
チャンネルフェーダー	A デッキ	B6	19	dd	-	-	-	0 ~ 127 下端: 0 / 上端: 127
	B デッキ	B6	21	dd	-	-	-	0 ~ 127 下端: 0 / 上端: 127
	C デッキ	B6	23	dd	-	-	-	0 ~ 127 下端: 0 / 上端: 127
	D デッキ	B6	25	dd	-	-	-	0 ~ 127 下端: 0 / 上端: 127
クロスフェーダー		B6	31	dd	-	-	-	0 ~ 127 左端: 0 / 右端: 127
MIC (ON/OFF) ボタン		96	70	dd	96	102	dd	消灯=0, 点灯=127
AUX (ON/OFF) ボタン		96	75	dd	96	103	dd	消灯=0, 点灯=127
チャンネルレベルメーター	A デッキ	B6	71	dd	-	-	-	0 ~ 127
	B デッキ	B6	72	dd	-	-	-	0 ~ 127
	C デッキ	B6	73	dd	-	-	-	0 ~ 127
	D デッキ	B6	74	dd	-	-	-	0 ~ 127

3 エフェクト

SW 名		MIDI メッセージ (本機 → コンピュータ)						備考 (dd の数値)
		SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
BEAT ツマミ	A デッキ	B4	0	dd	B4	16	dd	0 ~ 127 左回しきり: 0 / 右回しきり: 127
	B デッキ	B5	0	dd	B5	16	dd	0 ~ 127 左回しきり: 0 / 右回しきり: 127
	C デッキ	B4	8	dd	B4	24	dd	0 ~ 127 左回しきり: 0 / 右回しきり: 127
	D デッキ	B5	8	dd	B5	24	dd	0 ~ 127 左回しきり: 0 / 右回しきり: 127
FX SELECT ボタン (TRANS)	A デッキ	94	70	dd	94	98	dd	OFF=0, ON=127
	B デッキ	95	70	dd	95	98	dd	OFF=0, ON=127
	C デッキ	94	74	dd	94	102	dd	OFF=0, ON=127
	D デッキ	95	74	dd	95	102	dd	OFF=0, ON=127
FX SELECT ボタン (FLANGER)	A デッキ	94	71	dd	94	99	dd	OFF=0, ON=127
	B デッキ	95	71	dd	95	99	dd	OFF=0, ON=127
	C デッキ	94	75	dd	94	103	dd	OFF=0, ON=127
	D デッキ	95	75	dd	95	103	dd	OFF=0, ON=127
FX SELECT ボタン (ECHO)	A デッキ	94	72	dd	94	100	dd	OFF=0, ON=127
	B デッキ	95	72	dd	95	100	dd	OFF=0, ON=127
	C デッキ	94	76	dd	94	104	dd	OFF=0, ON=127
	D デッキ	95	76	dd	95	104	dd	OFF=0, ON=127
FX SELECT ボタン (ROLL)	A デッキ	94	73	dd	94	101	dd	OFF=0, ON=127
	B デッキ	95	73	dd	95	101	dd	OFF=0, ON=127
	C デッキ	94	77	dd	94	105	dd	OFF=0, ON=127
	D デッキ	95	77	dd	95	105	dd	OFF=0, ON=127

SW 名		MIDI メッセージ (本機 → コンピュータ)						備考 (dd の数値)
		SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
LEVEL/DEPTH ツマミ	A デッキ	B4 B4	2 34	MSB LSB	B4 B4	18 50	MSB LSB	0 ~ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり : 16383
	B デッキ	B5 B5	2 34	MSB LSB	B5 B5	18 50	MSB LSB	0 ~ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり : 16383
	C デッキ	B4 B4	10 42	MSB LSB	B4 B4	26 58	MSB LSB	0 ~ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり : 16383
	D デッキ	B5 B5	10 42	MSB LSB	B5 B5	26 58	MSB LSB	0 ~ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり : 16383
TAP ボタン	A デッキ	94	88	dd	94	116	dd	OFF=0, ON=127
	B デッキ	95	88	dd	95	116	dd	OFF=0, ON=127
	C デッキ	94	89	dd	94	117	dd	OFF=0, ON=127
	D デッキ	95	89	dd	95	117	dd	OFF=0, ON=127
SOUND COLOR FX ボタン	FILTER	94	78	dd	94	106	dd	OFF=0, ON=127
	PITCH	94	79	dd	94	107	dd	OFF=0, ON=127
	CRASH	94	80	dd	94	108	dd	OFF=0, ON=127
	NOISE	94	81	dd	94	109	dd	OFF=0, ON=127

SW およびインジケーター名		MIDI メッセージ (コンピュータ → 本機)						備考 (dd の数値)
		SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
BEAT ツマミ	A デッキ	B4	0	dd	B4	16	dd	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
	B デッキ	B5	0	dd	B5	16	dd	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
	C デッキ	B4	8	dd	B4	24	dd	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
	D デッキ	B5	8	dd	B5	24	dd	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
FX SELECT ボタン (TRANS)	A デッキ	94	70	dd	94	98	dd	消灯=0, 点灯=127
	B デッキ	95	70	dd	95	98	dd	消灯=0, 点灯=127
	C デッキ	94	74	dd	94	102	dd	消灯=0, 点灯=127
	D デッキ	95	74	dd	95	102	dd	消灯=0, 点灯=127
FX SELECT ボタン (FLANGER)	A デッキ	94	71	dd	94	99	dd	消灯=0, 点灯=127
	B デッキ	95	71	dd	95	99	dd	消灯=0, 点灯=127
	C デッキ	94	75	dd	94	103	dd	消灯=0, 点灯=127
	D デッキ	95	75	dd	95	103	dd	消灯=0, 点灯=127
FX SELECT ボタン (ECHO)	A デッキ	94	72	dd	94	100	dd	消灯=0, 点灯=127
	B デッキ	95	72	dd	95	100	dd	消灯=0, 点灯=127
	C デッキ	94	76	dd	94	104	dd	消灯=0, 点灯=127
	D デッキ	95	76	dd	95	104	dd	消灯=0, 点灯=127
FX SELECT ボタン (ROLL)	A デッキ	94	73	dd	94	101	dd	消灯=0, 点灯=127
	B デッキ	95	73	dd	95	101	dd	消灯=0, 点灯=127
	C デッキ	94	77	dd	94	105	dd	消灯=0, 点灯=127
	D デッキ	95	77	dd	95	105	dd	消灯=0, 点灯=127
TAP ボタン	A デッキ	94	88	dd	94	116	dd	消灯=0, 点灯=127
	B デッキ	95	88	dd	95	116	dd	消灯=0, 点灯=127
	C デッキ	94	89	dd	94	117	dd	消灯=0, 点灯=127
	D デッキ	95	89	dd	95	117	dd	消灯=0, 点灯=127
LEVEL/DEPTH ツマミ	A デッキ	B4	2	dd	B4	18	dd	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
	B デッキ	B5	2	dd	B5	18	dd	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
	C デッキ	B4	10	dd	B4	26	dd	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
	D デッキ	B5	10	dd	B5	26	dd	0 ~ 127 左回しきり : 0 / 右回しきり : 127
SOUND COLOR FX ボタン	FILTER	94	78	dd	94	106	dd	消灯=0, 点灯=127
	PITCH	94	79	dd	94	107	dd	消灯=0, 点灯=127
	CRASH	94	80	dd	94	108	dd	消灯=0, 点灯=127
	NOISE	94	81	dd	94	109	dd	消灯=0, 点灯=127

4 その他 (remotebox 接続時)

SW およびインジケータ名 (remotebox)		MIDI メッセージ (本機 → コンピュータ)			備考 (dd の数値)
デッキ切り換え	C→A デッキ	90	90	dd	OFF=0, ON=127
	D→B デッキ	91	90	dd	OFF=0, ON=127
	A→C デッキ	92	90	dd	OFF=0, ON=127
	B→D デッキ	93	90	dd	OFF=0, ON=127
ニードルサーチパッド		Bn	105	dd	0 ~ 127 左端で 0、右端で 127

その他

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目を確認してください。また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、「ご使用前に（重要）/クイックスタートガイド」の「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源をオフにしてから1分後に再度電源をオンにすることで正常に動作することがあります。

電源

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
電源が入らない。 すべてのインジケータが点灯しない。	電源コードが正しく接続されていますか？ 電源の[STANDBY/ON]ボタンは[ON]になっていますか？	電源コードをコンセントへ接続してください。（9ページ） 電源の[STANDBY/ON]ボタンを[ON]にしてください。（20ページ）
[STANDBY/ON]インジケータが点滅して電源が入らない。	—	電源コードを一度抜いて1分以上経ってから再び差し込むことで正常に動作することがあります。それでも同じ症状が現れるときは、電源コードを抜いてから修理を依頼してください。

音声出力

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
音が出ない、または音が小さい。	[DECK 1, PHONO1/LINE1] 切換スイッチおよび [DECK 2, PHONO2/LINE2] 切換スイッチの位置が正しく設定されていますか？ [TRIM] ツマミ、チャンネルフェーダー、クロスフェーダーおよび [MASTER LEVEL] ツマミが正しい位置に設定されていますか？ 本機背面の [LINE, PHONO] 切換スイッチは正しく設定されていますか？	[DECK 1, PHONO1/LINE1] 切換スイッチおよび [DECK 2, PHONO2/LINE2] 切換スイッチでチャンネルの入力ソースを切り換えてください。（21ページ） [TRIM] ツマミ、チャンネルフェーダー、クロスフェーダーおよび [MASTER LEVEL] ツマミを正しい位置に設定してください。（21ページ） 接続している機器に応じて本機背面の [LINE, PHONO] 切換スイッチを正しく設定してください。（9ページ）
音が歪む。	[MASTER LEVEL] ツマミが正しい位置に設定されていますか？ [TRIM] ツマミが正しい位置に設定されていますか？ 本機背面の [LINE, PHONO] 切換スイッチは正しく設定されていますか？ [MIC] 端子に入力される音声レベルは適切に設定されていますか？ [AUX IN] 端子に入力される音声レベルは適切に設定されていますか？	マスターレベルインジケータのオレンジ色のインジケータがピークレベルで点灯するように [MASTER LEVEL] を調整してください。（21ページ） チャンネルレベルインジケータのオレンジ色のインジケータがピークレベルで点灯するように [TRIM] を調整してください。（21ページ） 接続している機器に応じて本機背面の [LINE, PHONO] 切換スイッチを正しく設定してください。（9ページ） [MIC LEVEL] ツマミを正しい位置に設定してください。（18ページ） [AUX LEVEL] ツマミを正しい位置に設定してください。（18ページ）
音が出ない、歪む、またはノイズが出る。	本機とテレビを近くに設置していませんか？	テレビの電源をオフにしてください。または本機とテレビを離して設置してください。
マイクの音が出ない、または小さい。	[MIC LEVEL] ツマミが正しい位置に設定されていますか？ 本機またはマイク側のスイッチがオフになっていませんか？	[MIC LEVEL] ツマミを正しい位置に設定してください。（18ページ） スイッチをオンにしてください。
アナログプレーヤーを本機の [PHONO/LINE] 端子に接続すると音が歪む。 また、[TRIM] ツマミを回してもチャンネルレベルインジケータの点灯が変わらない。	フォノイコライザー内蔵のアナログプレーヤーを接続していませんか？ アナログプレーヤーと本機の間にはコンピュータ用のオーディオインターフェースが接続されていませんか？	フォノイコライザー内蔵のアナログプレーヤーは、本機背面の [LINE, PHONO] 切換スイッチを [LINE] に切り換えてお使いください。（9ページ） フォノイコライザー内蔵のアナログプレーヤーに PHONO/LINE 切換スイッチがあるときは、PHONO に切り換えてください。 コンピュータ用のオーディオインターフェースの出力がラインレベルのときは、本機背面の [LINE, PHONO] 切換スイッチを [LINE] に切り換えてお使いください。（9ページ） アナログプレーヤーに PHONO/LINE 切換スイッチがあるときは、PHONO に切り換えてください。

ディスプレイ表示

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
プレーイングアドレス表示が残り時間表示で表示されない。	—	VBR で記録されているファイルを再生しているときは、曲の長さがすぐに判らないことがあるためプレーイングアドレス表示が表示されるまでに時間がかかることがあります。
カテゴリ表示されない。	USB デバイスに rekordbox のライブラリ情報が記録されていますか？ USB デバイスが書き込み禁止になっていませんか？	rekordbox からライブラリ情報をエクスポートしたデバイスを使用してください。 USB デバイスのライトプロテクトを解除して、本機が書き込みできるようにしてください。
何も表示されない。	オートスタンバイ機能が働いていませんか？	本機は、オートスタンバイ機能をオンに設定して出荷しています。オートスタンバイ機能をお使いにならないときは、[AUTO STANDBY] を [OFF] に設定してください。(23ページ)

機能操作

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
クロスフェードできない。	[CROSS F. CURVE (THRU. 左, 右)](クロスフェーダーカーブ切替スイッチ)が [THRU] に設定されていませんか？	[CROSS F. CURVE (THRU. 左, 右)](クロスフェーダーカーブ切替スイッチ)を [THRU] 以外に設定してください。(21ページ)
バックキュー機能が働かない。	キューポイントが設定されていますか？	キューポイントを設定してください。(14ページ)
ビートエフェクトが効かない。	[BEAT FX (TRANS. FLANGER. ECHO. ROLL)] ボタンを押していますか？ [LEVEL/DEPTH] ツマミがセンター位置に設定されていませんか？ [BEAT] ツマミが正しく設定されていますか？	[BEAT FX (TRANS. FLANGER. ECHO. ROLL)] ボタンのいずれかを押してください。(19ページ) [LEVEL/DEPTH] ツマミを右または左に回してください。(19ページ) [BEAT] ツマミを正しく設定してください。(19ページ)
カラーエフェクトが効かない。	[SOUND COLOR FX (NOISE, PITCH, CRUSH, FILTER)] ボタンを押していますか？ [COLOR] ツマミが正しく設定されていますか？	[SOUND COLOR FX (NOISE, PITCH, CRUSH, FILTER)] ボタンのいずれかを押してください。(19ページ) [COLOR] ツマミを正しく設定してください。(19ページ)
[SYNC] 機能が働かない。	音楽ファイルが解析されていますか？	曲を解析してください。(22ページ)
曲を解析しても [SYNC] が働かない。	ビートグリッドが不規則ではありませんか？ ビートグリッドは正しく打たれていますか？ デッキにロードされている両トラックのBPMが離れすぎていませんか？ スクラッチしていませんか？	ビートグリッドを正しく設定してください。(22ページ) [SYNC] ボタンを押してあるデッキのトラックのBPMが、[SYNC] ボタンが押されていないデッキのトラックのテンポ調整可能範囲を超えているときは、[SYNC] 機能が正常に動作しません。 スクラッチすると [SYNC] が無効になります。
設定が記憶されない。	設定を変更したあと、すぐに電源をオフにしていますか？	設定を変更したあとは、10秒以上経過してから電源をオフにしてください。サンプラー音源を編集(記録/削除)した際には、必ず [STANDBY/ON] ボタンで電源を切ってください。

USB デバイス

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
USB デバイスを認識しない。	USB デバイスが正しく接続されていますか？ USB ハブを経由して接続していませんか？ 本機が対応している USB デバイスですか？ ファイルフォーマットが本機に対応していますか？ 本機の定格電流 (500 mA) を超える USB デバイス (バスパワー駆動ハードディスクなど) を使っていませんか？ —	奥までしっかり差し込んでください。 USB ハブは使えません。 本機は、外付けハードディスクおよび携帯フラッシュメモリなどの USB マスストレージクラスの USB デバイスに対応しています。 接続している USB デバイスのファイルフォーマットを確認してください。本機が対応しているファイルフォーマットについては、5ページの「USB デバイスについて」をご覧ください。 本機の定格電流以内の USB デバイス (AC アダプターなどの外部電源で駆動するハードディスクなど) をお使いください。 いったん電源をオフにしてから 1 分後に再度電源をオンしてください。
USB デバイス (フラッシュメモリまたはハードディスク) の読み込みに時間がかかる。	USB デバイスに大量のフォルダまたはファイルを記録していませんか？ USB デバイスに音楽ファイル以外のファイルを保存していませんか？	フォルダやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。 音楽ファイル以外のファイルがフォルダ内にあるときも読み込みに時間がかかるので、音楽ファイル以外のファイル、フォルダは入れないようにしてください。
USB デバイスからトラックをロードしても再生が始まらない。	再生できるファイルですか？ オートキュー機能が働いていませんか？	5ページの「再生できる音楽ファイルフォーマット」をご覧ください。 [TIME(AUTO CUE. QUANTIZE)] ボタンを 1 秒以上押して、オートキュー機能を解除してください。(17ページ)
ファイルを再生できない。	ファイルが著作権保護 (DRM) されていませんか？	著作権保護されているファイルは再生できません。
音楽ファイルを再生できない。	音楽ファイルが壊れていませんか？	壊れていない音楽ファイルを再生してください。

DJ ソフトウェア

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
コンピュータ上の DJ ソフトウェアを操作できない。	付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか？	コンピュータと本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。USB ハブは使えません。(9ページ)
DJ ソフトウェアの音声が正しく出力されない。	DJ ソフトウェアの出力設定と本機の [MIXER MODE] の設定が正しく設定されていますか？	DJ ソフトウェアの設定を確認してください。その後、本機の設定を [UTILITY] 画面で確認し、信号経路が正しくなるように設定してください。(26ページ)
	ドライバソフトウェアは正しく設定されていますか？	ドライバソフトウェアを正しく設定してください。(25ページ)
	接続ケーブルが正しく接続されていますか？	接続ケーブルを正しく接続してください。(9ページ)
	端子やプラグが汚れていませんか？	端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
	接続しているパワーアンプやパワードスピーカーなどは正しく設定されていますか？	パワーアンプやパワードスピーカーなどの外部入力の切り換えや音量を正しく設定してください。
DJ ソフトウェアを使っているとき再生中の音声がとぎれる。	ドライバソフトウェアのレイテンシーの値は適切ですか？	ドライバソフトウェアのレイテンシーの値を適切に設定してください。(25ページ)
		DJ ソフトウェアのレイテンシーの値を適切に設定してください。

無線 LAN

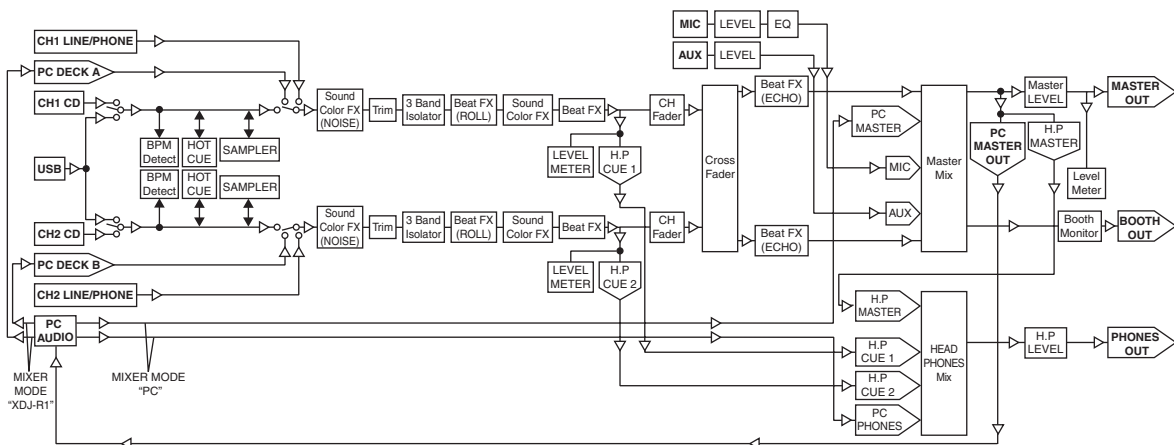
こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
リンクが確立できない。	無線 LAN 接続が正しく接続されていますか？	モバイルデバイスと本機を無線 LAN で正しく接続してください。(10ページ) remotebox 取扱説明書の「基本操作」をご覧ください。
	既に別のモバイルデバイスが接続されていませんか？	接続できるモバイルデバイスは、1 台までです。
モバイルデバイスと接続できない、操作できない、音が出ない。	2.4 GHz 帯の電磁波を発する機器 (電子レンジ、他の無線 LAN 機器など) が近くにありませんか？	電磁波を発する機器から本機を離して設置するか、電磁波を発する機器の使用をおやめください。
	モバイルデバイスと本機が離れすぎたり、間に障害物がありますか？	同じ部屋で障害物のない、見通し距離 40 m 以内に設置してください。(見通し通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わることがあります。)

エラー表示

本機が正常に動作できないときは表示部にエラーコードを表示します。以下の表で確認して処置してください。以下の表にないエラーコードが表示されたときや、処置しても同じエラーコードが表示されるときは、お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

エラーコード	エラータイプ	エラー内容	原因と処置
E-7201	CANNOT READ DISC	TOC データが読み取れない。	
E-8301	CANNOT READ DISC	正常に演奏できないディスクがセットされている。	<ul style="list-style-type: none"> ディスクにひび割れがある。→ ディスクを交換してください。 ディスクが汚れている。→ ディスクをクリーニングしてください。 他のディスクで正常に動作するときはディスクに原因があります。
E-8302	CANNOT PLAY TRACK	ディスク内のまたは記録メディア (USB) 内のトラックデータ (ファイル) が正常に読み取れない。	<ul style="list-style-type: none"> トラックデータ (ファイル) が破損している可能性があります。→ 本機と同じフォーマットを再生できる別のプレーヤーなどで、トラック (ファイル) が再生できるか確認してください。
E-8304	UNSUPPORTED FILE FORMAT	正常に演奏できない音楽ファイルをロードしている。	フォーマットに従っていない。→ フォーマットに従った音楽ファイルに交換してください。
E-8305			
E-9101	MECHANICAL TIMEOUT	ディスクの読み込み中または取り出し中にメカエラー (タイムアウト) になった。	規定時間内にメカ動作が終了しなかったときに表示されます。

ブロックダイアグラム



本体表示部表示アイコン一覧

	トラック / ファイル名		フォルダー
	アーティスト		再生中
	アルバム		再生不可
	プレイリスト		ホットキューオートロード設定曲

使用上のご注意

結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れずに1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたりすることがあります。このようなときは、「ご使用前に（重要）/クイックスタートガイド」の「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販のクリーニングディスクはレンズを破損する恐れがありますので、使用しないでください。

ディスクの取り扱いかた

保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

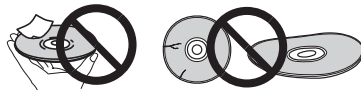
ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やほこりが付いたときは、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。



- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用しないでください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞り汚れを拭き取ったあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
- ディスクの信号面に傷や汚れをつけないでください。
- ディスクを2枚重ねて再生しないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けしないでください。ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出して

いる恐れがありますので、のりなどはみ出しがないことを確認してからご使用ください。



特殊な形のディスクについて

本機は一般の12 cm ディスク以外の異形ディスクは再生できません（故障・事故の原因になることがあります）。本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。



ディスクの結露について

冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります（結露）。ディスクが結露していると再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

商標および登録商標について

- Pioneer および rekordbox、remotebox は、パイオニア株式会社の登録商標または商標です。
 - Microsoft, Windows, Windows Vista および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - Apple, Macintosh, Mac OS, Safari, iTunes、および Finder は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
 - Intel および Pentium は、米国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
 - ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
 - VirtualDJ は Atomix Productions の登録商標です。
- その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。営利的目的での（収益の発生するような）、実際の放送（地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためにはライセンスされておりません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは <http://www.mp3licensing.com> をご参照ください。

— 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

©2013 パイオニア株式会社

禁無断転載

パイオニア株式会社

〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

<DRJ1014-A>